



(第 38 号)

発行所 高松市番町二二
高松高等学校内
香川県立高松高等学校玉翠会
発行 榎田 實
責任者 榎田 實
印刷所 石田印刷(有)



ご挨拶

玉翠会会長 榎田 實

梅雨の候、玉翠会報の季節となりました。今年初の試みとして総会後「高松玉翠会ビアガーデン」が開催しました。各地での玉翠会は、総会後の懇親会は恒例となっており、高松本部玉翠会は十年節目の百二十周年とか百十周年記念と十年に一回の開催でした。

今年は、佐藤副会長のご尽力で、又、若い皆さんの絶大なるご協力を得て懐かしい市の中央球場、蒲鉾型体育館跡地の中央公園で、屋外での開催となりました。多少のリスクはありましたが、過去のデーターから五月二十七日は晴れの日が多いとの情報で、総会終了後の十六時にスタートしました。当日は快晴、気温も三十度近く、十六時前でも強い日差しで、熱中症、日焼けに注意の天候でした。参加金額は二千円、前売チケットは千枚以上の売れゆきで、飲み放題、吹奏楽部OB、応援団OBの出演他、生バンド演奏も有りの懇親会で八百八十六名の来場者で、大いに盛り上

りました。懇親会後は、古馬場方面に向う方も多々見うけ、プチ同窓会の気分です。時間を過ごす事が出来たのではとの思いです。又、仕入れや設営に多大なるご協力を頂いた会員の皆様に厚くお礼申し上げます。

今後、この様な催しは、まずは何年かに一度の定期開催を目指して、経年の「尻窄み」「マンネリ」にならぬ様に、計画実行したく思います。

又、以前から、皆様にご理解を頂くべく、お話をさせて頂いていましたが、今回の総会で伝統ある玉翠会を継続させる為に、年会費の最低ラインを二千円に引き上げさせて頂きました。

これから「玉翠会」の維持発展の為に、又我々を育ててくれた高松高等学校への恩返しと、現役後輩諸君への励ましの為にも、是非とも皆様のご理解をお願い致します。

最後となりましたが、会員皆様のご多幸、ご健勝を祈念申し上げてご挨拶とさせて頂きます。



ご挨拶

高松高等学校長 溝渕 祥民

七夕を迎えるころ、白亜の校舎に囲まれたブラザ北東隅にすくく伸びる笹竹に自ずと視線が向かいます。年に一度、天の川を挟んだ牽牛と織姫は逢瀬を楽しみ、益々ご隆盛の玉翠会員の皆様には会報をお届けする時節となりました。常日頃から、本校の教育に深いご理解と多大なご支援を賜り、衷心より感謝申し上げます。

今年は、創立から百二十五年となります。戦後の昭和二十三年に新学制が実施されてからは七十年です。男子のみの高松高等学校と高松女子高等学校が統合されて、現在の高松高等学校が設置されたのは、その翌年のことでした。

男女共学となった後も、それぞれの校歌が存続していました。このため、新校歌制定の機運が高まったとのこと。当時の高松新聞からは、生徒が強い関心を寄せ、学校に任せるのではなく、自治会で校歌制定委員会を設立し、活発な活動を展開したことが窺えます。

新校歌制定は新たな校風を興す、との認識でした。全校から湧き上がる熱意に加えて、将来に至るべき理想の校風を校歌に込めようとの意気を感じます。ただ、一年半余を経て適当な生徒作品は寄せられず、結局、作詞は高中第三十五回卒業の河西新太郎に、また、作曲は菊池寛との縁浅からぬ芥川也寸志に託したのです。そして昭和二十六年冬、待望の校歌が制定され、今も誇りを持って高らかに歌い続けられています。

一方で、共学の年から、体育祭が始まっています。当初は運動会として校内で実施されてきました。校歌一番に謳われる屋島山の麓に移るのが昭和三十一年。第八回国民体育大会の主会場として設けられた屋島競技場での開催でした。その後、他の会場で行われたこともありましたが、体育祭と言えば屋島を懐かしむ方も多いのではないのでしょうか。

その施設も幾星霜を経て老朽化が著しく、今春、全面改修を終え、名称も屋島レクザムフィールドと、新装なったところです。本年五月の第六十九回体育祭は、伝統の地に復しての開催でした。新緑の山肌を背景に眉清き若人が澀刺と挙り、今後暫らくは、この競技場で実施していくこととなりそうです。

長い歳月を経ても、本校生徒の気質は変わりません。在校生も揺るぎない向学の念を保って真理の道を究めようとしています。殊に校歌の二番に謳われる「独立自主」の精神を受け継いで自由と自治を謳歌すべく、歴史と伝統を踏まえながら、理想の校風に向かって新しいページを開こうとしているのです。

どうぞ、玉翠会員各位におかれましては、今後、後輩たちと母校に対し、倍旧のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。あわせて、玉翠会員の皆様方の更なるご健勝とご活躍を祈念し、ご挨拶といたします。

新藤	濱崎	森末	村上	西川	吉川	三上	田中	片山	常谷	向井	妻鹿	山下	納田	甲村	中村	森塚	六車	頼富	横井
正明	直哉	江美子	潤太	明人	佳樹	洋子	里佳	進亮	紗己	健二	大輔	俊博	裕崇	康平	菜摘	雅斗	京香	賢斗	涼亮
久枝	松久	谷田部	石原	井手下	有友	朝倉	武田	小山	森岡	數内	太田	笹島	賀須	長尾	川田	川田	龜山	大食	大食
了	賢一	秀男	志保	和洋	明美	理映	由美	尚人	純	健二	義浩	正樹	俊樹	上樹	拓弘	侑生	桃子	上影	上影
井上	川人	入門	兼近	西口	串田	福家	中村	土居	石原	金倉	合田	河本	陶山	川口	井上	黒部	杉村	津川	津川
菜々子	香織	美穂	賀里	園恵	章弘	孝一	裕美	正明	石原	慶忠	弘朗	真孝	真固	真貴	真梨	眞英	眞子	航輝	航輝
鳥養	千切	前田	神内	山下	嶋崎	松岡	佐知子	長町	齋藤	千葉	今井	磯井	永峰	佐藤	辻	塩梅	向井	藤野	藤野
智子	重敏	克知	晶子	宏美	康正	敬三	知子	篤	直樹	一考	淳一	優一	哲人	里里	直子	健人	愛心	亞湖	亞湖
新藤	濱崎	森末	村上	西川	吉川	三上	田中	片山	常谷	向井	妻鹿	山下	納田	甲村	中村	森塚	六車	頼富	横井
正明	直哉	江美子	潤太	明人	佳樹	洋子	里佳	進亮	紗己	健二	大輔	俊博	裕崇	康平	菜摘	雅斗	京香	賢斗	涼亮
久枝	松久	谷田部	石原	井手下	有友	朝倉	武田	小山	森岡	數内	太田	笹島	賀須	長尾	川田	川田	龜山	大食	大食
了	賢一	秀男	志保	和洋	明美	理映	由美	尚人	純	健二	義浩	正樹	俊樹	上樹	拓弘	侑生	桃子	上影	上影
井上	川人	入門	兼近	西口	串田	福家	中村	土居	石原	金倉	合田	河本	陶山	川口	井上	黒部	杉村	津川	津川
菜々子	香織	美穂	賀里	園恵	章弘	孝一	裕美	正明	石原	慶忠	弘朗	真孝	真固	真貴	真梨	眞英	眞子	航輝	航輝
鳥養	千切	前田	神内	山下	嶋崎	松岡	佐知子	長町	齋藤	千葉	今井	磯井	永峰	佐藤	辻	塩梅	向井	藤野	藤野
智子	重敏	克知	晶子	宏美	康正	敬三	知子	篤	直樹	一考	淳一	優一	哲人	里里	直子	健人	愛心	亞湖	亞湖

平成29年度 玉翠会事業計画

月	日	曜	事 業 名	会 場
4	27	木	会計監査	5 階会議室
5	15	月	玉翠会 会長・副会長会	校長室
5	20	土	東海玉翠会総会	名鉄グランドホテル
5	27	土	玉翠会 理事会・代議員会	玉翠ホール
			玉翠会 教育基金運営委員会	校長室
			玉翠会 高松懇親会	高松市中央公園(★サンポート)
6	24	土	徳島玉翠会総会	ザ・グランドパレス徳島
7	6	木	第1回グローバルアカデミー(GGA) 鎌長製衡株式会社社長 鎌田長明氏(平10卒)	玉翠ホール
7	8	土	玉翠会報 第38号発行	
7	8	土	東京玉翠会総会	グランドプリンスホテル新高輪
9	9・10	土・日	文化祭(玉翠庵お休み処)	高松高校
10	21	土	関西玉翠会総会	ザ・リッツ・カールトン大阪
10			先輩講演会 元朝日新聞社社長 木村伊量氏(昭47卒)	体育館
11	11	土	岡山玉翠会総会	アークホテル岡山
2			玉翠会 会長・副会長会	校長室
3	6	火	卒業式	体育館

平成29年度 玉翠会会計収支予算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉 翠 会 会 費	8,000,000
玉 翠 会 入 会 金	1,030,400
受 取 利 息	0
雑 収 入	0
収 入 の 部 合 計	9,030,400

〈支出の部〉

費 目	金 額
本 部 運 営 費	4,530,000
支 部 運 営 費	1,300,000
卒 業 生 記 念 品 料	130,000
備 品 充 実 費	500,000
退職積立預金繰入支出	100,000
学校助成金会計繰入支出	2,000,540
予 備 費	300,000
支 出 の 部 合 計	8,860,540
当年度収支差額	169,860
前年度収支差額	15,831,041
次年度収支差額	16,000,901

平成29年度 玉翠会学校助成金会計収支予算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉翠会会計より繰入収入	2,000,540
受 取 利 息	0
収 入 の 部 合 計	2,000,540

〈支出の部〉

費 目	金 額
雑 費	540
支 出 の 部 合 計	540
当年度収支差額	2,000,000
前年度収支差額	6,000,816
次年度収支差額	8,000,816

平成29年度 創立百周年記念玉翠会教育基金収支予算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
受 取 利 息	1,000
雑 収 入	0
収 入 の 部 合 計	1,000

〈支出の部〉

費 目	金 額
奨 学 金	2,400,000
教 育 活 動 費	200,000
雑 費	540
予 備 費	50,000
支 出 の 部 合 計	2,650,540
当年度収支差額	△ 2,649,540
前年度収支差額	14,824,537
次年度収支差額	12,174,997

平成29年度 甲子園出場記念教育基金収支予算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
受 取 利 息	550
収 入 の 部 合 計	550

〈支出の部〉

費 目	金 額
教 育 活 動 費	0
雑 費	540
支 出 の 部 合 計	540
当年度収支差額	10
前年度収支差額	7,501,118
次年度収支差額	7,501,128

平成28年度 玉翠会事業報告

月	日	曜	事 業 名	会 場
4	26	火	会計監査	5 階会議室
5	9	月	玉翠会 会長・副会長会	校長室
5	21	土	東海玉翠会総会	名鉄グランドホテル
6	11	土	玉翠会 理事会・代議員会	玉翠ホール
			玉翠会 教育基金運営委員会	校長室
			玉翠会・PTA合同歓送迎会	JRホテルクレメント高松
6	25	土	徳島玉翠会総会	ザ・グランドパレス徳島
7	7	木	第1回グローバルアカデミー(GGA) 外務省 山川寛詞氏(平11卒)	玉翠ホール
7	9	土	玉翠会報第 37 号発行	
7	9	土	東京玉翠会総会	グランドプリンスホテル新高輪
9	10・11	土・日	文化祭(玉翠庵お休み処)	高松高校
10	22	土	関西玉翠会総会	ホテルグランヴィア大阪
10	25	火	先輩講演会 元 ICPO 国際刑事警察機構総裁 兼元俊徳氏(昭39卒)	体育館
11	12	土	岡山玉翠会総会	アークホテル岡山
2	7	火	玉翠会 会長・副会長会	校長室
3	3	金	卒業式	体育館

平成28年度 玉翠会会計収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉 翠 会 会 費	7,169,780
玉 翠 会 入 会 金	1,014,000
受 取 利 息	2,208
雑 収 入	38,540
収 入 の 部 合 計	8,224,528

〈支出の部〉

費 目	金 額
本 部 運 営 費	3,799,561
支 部 運 営 費	1,159,040
卒 業 生 記 念 品 料	119,226
備 品 充 実 費	304,560
退職積立預金繰入支出	100,044
学校助成金会計繰入支出	2,000,540
予 備 費	0
支 出 の 部 合 計	7,482,971
当年度収支差額	741,557
前年度収支差額	15,089,484
次年度収支差額	15,831,041

平成28年度 玉翠会学校助成金会計収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉翠会会計より繰入収入	2,000,540
受 取 利 息	46
収 入 の 部 合 計	2,000,586

〈支出の部〉

費 目	金 額
雑 費	540
支 出 の 部 合 計	540
当年度収支差額	2,000,046
前年度収支差額	4,000,770
次年度収支差額	6,000,816

平成28年度 創立百周年記念玉翠会教育基金収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
受 取 利 息	3,412
雑 収 入	12,000
収 入 の 部 合 計	15,412

〈支出の部〉

費 目	金 額
奨 学 金	2,640,000
教 育 活 動 費	0
雑 費	540
予 備 費	0
支 出 の 部 合 計	2,640,540
当年度収支差額	△ 2,625,128
前年度収支差額	17,449,665
次年度収支差額	14,824,537

平成28年度 甲子園出場記念教育基金収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
雑 収 入	1,713
収 入 の 部 合 計	1,713

〈支出の部〉

費 目	金 額
教 育 活 動 費	660,000
雑 費	540
支 出 の 部 合 計	660,540
当年度収支差額	△ 658,827
前年度収支差額	8,159,945
次年度収支差額	7,501,118

平成二十九年 理事会・代議員会開催される

○年会費最低ライン引き上げ（千円→二千円）が承認される。

○初の「高松懇親会」を同日二六時、中央公園にて開催。

昨年から同時開催となった理事会・代議員会は五月二十七日(土)午後一時より高松高校五階ホールにて百四十名の出席をもって開かれた。



理事・代議員の皆さま

昨年 同日 午後 一時 五階ホールにて開催。出席者は、理事・代議員、松高より後日、二、三、五、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

もちろん、進路意識を持たせるために諸先輩方の多大なご協力を得て、学校としても心強い「一」といってお礼と、皆様には今後ともご理解ご支援をよろしくお願いしたい、と挨拶が続いた。



会長あいさつ

ルにて百四十名の出席をもって開かれた。
開会に先立ち、昨年度ご逝去された一六名の方々のご冥福をお祈りし全員で静かに黙祷を捧げた。
山口太郎代議員（62卒）の司会により、まず植田会長より、皆様のご協力を得て、また副会長の時代に合った運営の改善などで会務は順調に進んでいるが、数年前から懸案だった会費最低ラインの引き上げも議題に挙げているのでよろしく願いたい、などの挨拶があった。
続いて溝渕祥民校長より「皆様の物心両面のご支援のおかげで生徒の学習環境の充実は



校長あいさつ

議事は会則に従い植田会長の議長のもと進められた。
事務局より、まず、前年度事業報告・本会計と三つの会計決算報告（3 p 参照）、小川監事より

2016 年 11 月 24 日

香川県立高松高等学校玉翠会 2016 年度文化祭事業 事業報告・決算報告書

香川県立高松高等学校玉翠会
2016 年文化祭事業委員会

- 事業名
2016 年高松高校文化祭における御接待処「玉翠庵」の設営と運営
- 事業目的
 - 高松高校文化祭において玉翠会事業を開催することで現役高生への諸活動に対する玉翠会員の理解を深める
 - 高松高校文化祭への学外からの来訪者に茶湯のおもてなしをする。
 - 過去の文化祭の資料や写真をパネルや現物展示することにより高松高校の歴史を内外に紹介する。
- 事業担当者

委員長 谷田部秀男(H02)

委員 千切谷耕一郎・川人香織・宮武安希子・津國祐香理・古竹美奈・茂中芳佳・大谷智子・林本実・王尾健一郎・吉田元信・湯浅泰三・鎌田英紀・泉保光邦・三好仁美・小川朋子(以上 H02) 長町篤(H11)
- 実施日時
平成 28 年 9 月 10 日(土)9 時 30 分～15 時 30 分
9 月 11 日(日)9 時 00 分～15 時 00 分
- 実施場所
香川県立高松高等学校 2 階南西 206 教室 香川県高松市番町 3-1-1
- 参加人数(玉翠庵入場者数)
10 日 244 名(うちフォークダンス 22 名)・11 日 535 名 合計 779 名
お茶提供数約 600 杯
(参考 学校側による文化祭の推定総入場者数は約 3,000 名)
- 所見

今年度より卒業年度の同志が集まって事業を行うことになりました文化祭事業ですが、前年度より引き継ぎさせて頂きました内容に加え、在学当時の校舎、生活様子の写真パネル展示と屋外で玉翠会員と現役高校生との交流事業、フォークダンスを開催致しました。会場、学生の集客等の問題がうまくクリアできず、フォークダンス事業は、参加者が少なかったですが、玉翠庵での、文化祭資料の展示と写真パネルは、前年度同様に多数の人に懐かしんでもらうことが出来たと思います。
こうして同級生でひとつの大きな事業を任せていただく機会を与えていただいたことで、普段から同じ高松に住んでいる同級生を呼び、集まるいい機会となりました。さらなる今後の交流にも発展させていきたいと思います。ただ、次回開催担当となる H03 卒の方に、一緒に参画していただけたほうが、より分かりやすく引き継ぎ出来たのではないかと反省材料も浮き彫りになりました。最後になりましたが、今回の事業に多大なるご尽力を賜りました先生、先輩方に深く感謝したいと思います。ありがとうございました。

監査報告があり、拍手で承認された。
続いて、植田会長から、「年会費最低ライン引き上げ」について、二年前からこの場で現在の玉翠会財務状況と今後三十年間の収支予測をお示しし、本件の検討についての協議をいただいた。本会は会の運営に加えて、母校への施設の寄付と現役高校生への奨学金という援助も行っている上に今後会員の減少は避けられない。もちろん事務局でもコスト削減の努力もしているが、やはり会費の値上げに手をつけざるを得ないのが現状である。これにより、今年度より年会費の最低ラインをこれまでの千円から二千円に引き上げることが提案され、承認された。
続いて今年度事業計画案及び会計収支予算案（3 p 参照）が示され、原案どおり承認され、審議事項はすべて承認された。
続いて連絡事項として、佐藤副会長から、



「高松懇親会」について
佐藤哲也副会長より

この後の高松懇親会の準備を進めてきた若手代議員が紹介され、参加の皆さんへのお願いが数点あった。
最後に事務局より、会費納入を重ねてお願いしたい。郵便局振込に加えて、コンビニやネット、銀行振込も可能になった（22 p 参照）ことが言われた。
最後に牟禮明副会長の閉会のことばで理事会・代議員会を終了した。

玉翠会年会費最低ライン引き上げについて

現在の玉翠会年会費は 1 口が 1,000 円（振込手数料は会負担）であり、会費納入者の約 9 割の方より 1,000 円の振り込みを頂いております。

長きにわたって運営されてきた数多の会と同様に、これから始まる昭和ベビーブーマー世代の皆様の御勇退や、少子化による新入会員の減少等々により、当玉翠会も、あと 15 年弱で今ある剰余金を使い果たして資金不足の状況に陥ることが予測されております。これに対抗する措置として現在推進しております会報をはじめとする会員様への連絡の電子化等による通信経費合理化への取り組みに加えまして、会員の皆さんから頂いている年会費最低ラインの増額もいよいよ必要となって参りました。

皆様から頂戴いたしました年会費は、連絡事務費としての支出にとどまらず、毎年、200 万円の高松高等学校への施設寄付、並びに 200 万円の現役高生への不還付学費協力奨学金等々、我々を育ててくれた高松高等学校への恩返しと現役後輩諸君への励ましのための浄財として、有効に活用させて頂いております。

この活動を今後も継続させるためにも、年会費の最低ラインを現行の 1,000 円から 2,000 円へ引き上げることが、年次総会の席上で 3 年越しで協議され、去る 5 月 27 日に本校玉翠ホールで開催されました 2017 年度総会にて審議議決されました。景況まだまだ厳しき時節とは存じますが、皆様方におかれましては、本会活動に対し、引き続き深い御理解と御協力を賜ることをよろしくお願いいたします。

玉翠会奨学生からのお礼

一年生 女子

この度は、玉翠会奨学金をいただけることになり、ありがとうございます。

私はこの春、小学校三年生から憧れていた高松高校に入学できました。中学三年の時には祖父が入院して母が看病に通い、私が妹と母と三人分の夕食を作る日が一月ほど続き、つらい日々でした。でも祖父が優しく、母も明るくいつも応援してくれていましたので、私の合格を心から喜んでくれました。

入学後は、自分で決めていた吹奏楽委員会に入り、毎日放課後の友人との練習が楽しみです。今は夏のコンクールに向かって

練習しています。高松高校は去年、十数年ぶりに四国大会に出ることができ、今年も連続で、と先輩方もとても張り切っています。

勉強の方はすでに 4STEP でアップアッパ言ってる状態ですが、三年間、しっかり勉強して、憧れの大学の教育学部に行き、中学の英語の先生になりたいと思っています。

玉翠会奨学生に選んで頂いたことに恥じないよう、高松生活を誠実に送りますので、どうぞ見守ってください。ありがとうございました。

投稿募集のお知らせ

玉翠会報では次のようなコーナーを設けたいと考えております。

- 1 「文集」・・・各学年で文集を出されましたら、一冊事務局あてへお送りくださると紹介させていただきます。
- 2 「卒業写真」・・・卒業写真とともに懐かしい高校時代を振り返り、その思い出、エピソードなどを綴っていただくコーナーです。
- 3 「文芸欄」・・・会員の皆様方からお寄せいただいた作品を紹介させていただくコーナーです。随筆、詩、短歌、俳句など、ジャンルは問いません。

また、「あの先生は今...」「ただいま活躍中!」のコーナーに掲載する方のリクエストもお待ちしております。その他お気づきの点などございましたらお聞かせいただけたらと思います。
宛先は「玉翠会事務局」まで、郵送又は FAX、電子メールでお願いいたします。

香川県立高松高等学校玉翠会事務局

〒760-0017 高松市番町 3 丁目 1 番 1 号
電話 (087) 831-7251(代) FAX (087) 831-0010
mail:info@gyokusui.org

玉翠会

検索

ホームページ

公式：香川県立高松高等学校同窓会玉翠会本部
gyokusui.org/

高松高校玉翠会ビアガーデン

また、おかしげなことやつりよつてえ

副会長 佐藤 哲也



ということ、あれは今をさかのぼる四年前の九月七日、玉翠会百二十周年記念式典・懇親会事業を無事に終えることができた、皆さんを会場出口でお見送りしていたときのこと、帰りがけの複数の先輩方より「よその玉翠会は毎年のように宴会しとるのに地元が十年に一回では寂しいやろ。」という、酔った勢いでいいがかり・・・もといありがたい叱咤激励のご提案(笑)を、頂いたのがすべての始まりでございます。しんどの事業を終えたばかりだし、こは聞こえてないふりを布団かぶって寝てしまおう(笑)としばらく沈黙しておったのですが、そのうちあちこちから火の手が上がって来るようになりました(笑)、二年

前よりとりあえず動き出した次第であります。

なんにせよ正式なセレモニーや式典はけっこうな手間と予算とがかかるし、第一、どうせやるなら他校の同窓会がやっとなるようなありきたりのことはしたくないという勝手な思い込みで、とりあえず一回目は大失敗するかもわからんけれど(そんなときは二回目はないけれど)他にない面白いことを・・・と独自に発想したのが、どこのスポンサーにも広告にも頼ることなく、屋外で「本物の」ビアガーデンを玉翠会員限定完全前売りチケット制で安価にやろうということでした。当初はタカコーの運動場で考えたのですが、神聖な学び舎で酒飲み大会を催すなどもってのほか(さもありなん)ということで、タカコーの近辺で緑(ミドリ)がありタカコーとも縁(エン)がある場所を拾い出し、昔の中央球場で現役時代にも当時あった図書館の周りで勉強もせずに弁当を食べていた中央公園を一日限りのカッコいいビアガーデンにしようことにしました。借り切ったというものの、しかしこはあくまでも高松市民の皆さんの公共の憩いの場です。公園を占拠する屋外レストランではなくお花見のノリでやらせて頂きました。各年次の同窓会の待ち合わせ場として集まって頂いてよいので、最初は全学年全員で大酒飲んで混ざり合って盛り上がり過ぎて頂き、あとはとと二次会に散ってくださ(笑)という割り切ったコンセプトです。セレモニーも三分間だけ。名付けて『中央公園でタカコー仲間が二千円でプレミアムビール飲み放題 雨が降ったらごめん』。

流通させること』と『赤字を出せない予算』でしたが、『エンジンかけるまでは結構めんどろくさいんやけど、一旦かかったらやらんでええことまで徹底的にやる校風(すいません。私が玉翠の事業担当として常々思っている感想です)のタカコーOBの皆様。またまた素晴らしいものを見させて頂きました。今回は昭和二十七年卒から平成二十三年卒まで老若六十年の世代にわたるすべての代の代議員さんがその代のとりまとめ役となってチケットを預かって販売して頂き、最終集計で一千五百五十枚を売って頂いております。これに関してはノルマはもちろん目標枚数もまったく設定しておりません。選挙のような決起大会も開いておりません。本当に皆さんの自主的なご厚意だけで売れた枚数です。凄い。運営や仕入れに関しましてもお願ひした玉翠会員の企業さん達が利益ゼロどころか持ち出し覚悟の見積もりを出してくれました。本当にありがたいことです。また当日の準備と設営と運営に関しては昭和六十一年卒から平成二十三年卒までの二十六年にわたる若い代議員さん達やミュージシャンの有志さん達が先輩後輩間で手を繋いで尊い汗を流してくれました。結果、五月晴れの好天の下、芝生の上で九百人を集めた手作りのビアガーデンができました。

ご存じのように我が母校の卒業生も、今や大多数が、関東、関西をはじめとする県外の都会に就職し、香川に残っている地元組の方がはるかに少ない現状です。この地に残る我々が、狭い香川の中で世代を越えて「なんや、お前もタカコーやったんか」と励まし合いながら、少しでも良い町にしていこうことへのなにかのきっかけづくりになれば本望です。皆様、本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございます。

追伸
今回の様子は玉翠会ホームページにてご覧頂けます。しんどのいので毎年はしませんが、今度はフェリーでも借り切って、皆さんで無人島に渡り、タカコーOBだけで日頃のウツン晴らしの夏フェスでもやろうかと企んでおります。当日現地発表の極秘イベント名は『タカコーにあらずんば人にあらず』。すいません。調子こきすぎ、顰蹙(しんぞく)炎上、除名必至です。やはり「こいつにやらすと二度目はないぞ」でしょうか？(大笑)



支部会だより

東京玉翠会

昨年の東京玉翠会総会の幹事学年は、へーよん会こと、平成四年卒。シンプルで持続可能な総会運営を目指しますと控えめな宣言をされるも、宣言をした舌の根も乾かぬうちに、新旧高松高校校舎のジオラマ展示、同期の渡部さんによるチェンバロ生演奏、そしてプレゼンテーションを聞くだけで楽しみになるプログラム企画と、一昨年の「日本一同窓会」に勝るとも劣らぬ勢いで準備を進められ、七月九日の総会当日には歴代二位となる動員千二百一人を達成。「つなぐ、こえる、我が母校。」のテーマを見事に体現した、賑やかな会となりました。

個人的な感想としては、とにかくプログラ



ムが逸品。総会史上一番の分厚さを誇るプログラムに、十分に読み応えのある特集記事が盛り込まれており、校舎の建て替えにまつわる秘話や、県女卒だった杉原千

敏さんの奥様の話など、一日一本ペースでじっくり読ませていただきました。

後日、Facebookのページで、カバー画像の差し替えられたロゴ「つないだ、こえた、我らへーよん」や、急遽結成されたへーよん登山部による富士登山の様子を拝見し、先輩方が本当に楽しんで総会幹事に取り組まれたのだなと感じるとともに、自分の学年も続かねば！と思いました。

さて、そんな先輩からバトンを引き継いだ、我ら平成五年卒幹事団。今年は、「まんてがん参・集・互・会」のテーマのもと、七月八日(土)に、例年同様グランドプリンスホテル新高輪「飛天」にて開催します。

テーマにこめられた幹事団の想いは、ずばり原点回帰。やはり、同窓会って、懐かしい面々が集まって、お互いの今や思い出を話す場だよね〜ということ、じっくり歓談を楽しんでいただけのようにと考えてます。そんな歓談のスパイスとなるのが、さめき弁。サ

東海玉翠会



会長 入倉 憲一

(昭和四十四年卒)

東海玉翠会は、二〇一七年五月二十日(土)に名鉄グランドホテルにて第十一回総会を開催しました。昨年は第十回という節目にしては参加者が少なく心配しておりましたが、今回は初参加の三名を含め、会員参加三十八名となり、賑やかな楽しい会になりました。

ご来賓として、溝渕校長、植田玉翠会会長ならびに関西・徳島各玉翠会の役員にご出席いただき、母校や本部、各支部の近況についてお話しをいただきました。特に、玉翠会本部に関しては、五月二十七日に中央公園でピヤガーデン

ブテーマに「今日はさめき弁しゃべりまい！」を掲げ、故郷の懐かしい言葉を随所にちりばめて、話題のネタやトークの潤滑剤に、さめき弁づくしの同窓会を目指します。

一方、我々さめき人にとって、切っても切れないのが「うどん」です。昨年、諸般の事情により取りやめていた、うどんが復活します。幹事会で、さめき人の集まりにはうどんが欠かせないのだと力説した企画リーダーの、うどんへの熱い想いのもと、復活を遂げたうどん。これに、史上最強のトッピング登場！と銘打って、ちくわ天にゲソ天、さらには温泉たまごといったトッピングも準備して、当日の会を彩ります。

と、ここまで来ると気になってくるのは、動員数。当初の「千三百人集めるぞ！」の声は、流石に無謀だったかというところですが、若手懇親会と称して、今年母校を卒業したばかりの若者も交えて五月二十日に実施した飲み会は無事に成功。この勢いで、総会当日も

を開かれると伺い、地元だけでなく、近隣の岡山や徳島からも多くの同窓生が集い、楽しく賑わっている様子が脳裏に浮かびました。幹事の方にはご苦労をおかけしますが、このような催しが継続されることを願ってやみません。

懇親会では、これまでの十回の総会で記録のために撮りためていたものの、公開する機会がなかった八百枚弱の写真の中から約二百枚を厳選し、スライドショーにしたビデオを上映しました。懐かしい顔、おなじみの顔など、十年の時の流れを感じていただけたと思います。

これからも、会員に喜んでいただけるような会を目指して、地道に活動を進めていきたいと考えております。

本部・他支部の皆様も、転勤等で東海三県へお住まいになる際には、または本部事務局へご連絡いただき、是非とも東海玉翠会にご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

盛り上がりたてられればと思いつつ、準備を進めているこの頃です。さて、その結果は如何？それは、来年のご報告ということで。

第三十五回東京玉翠会総会幹事 白瀬 健二



関西玉翠会

第二十三回 関西玉翠会総会ご報告

故郷に架ける橋

「あのころに、おいでまい。」



関西玉翠会は二〇一六年十月二十二日(土)にホテルグランヴィア大阪で総会を開催いたしました。

当日は天候に恵まれ、また、JR大阪駅に直結という交通至便の会場も得て、二百五十四名の参加者が集い、旧交を温めました。本四連絡橋の橋脚がはじめておかれた昭和六十年卒、通称ロクマルの私たちは、総会テーマを橋にちなみ、「おいでまい」「きまい」と呼びかけることとしました。イメージカラーは体操服のラインの色だった黄色に決定。校章の刻印された黄色いキーホルダーを皆さまへのお土産に用意しました。



総会は亡くなった会員への黙祷に始まり、関西玉翠会樋口会長ごあいさつ、総会議事の承認、来賓ご紹介、玉翠会樋田会長のごあいさつと進み、高松高校溝渕校長先生の乾杯で懇親会へと移行しました。



本総会には、

高大陸上部出身の高本義国さん(株)アシックス、スポーツ工学研究所勤務。昭六十年卒)の特別講演を企画。当日は、「二百六

十二本、十秒〇〇への道程」究極の走りを求めて」と題された、イチローや伊東浩司のスパイク開発などのお仕事をはじめ、トライアスロンやマラソン、少年野球の指導などに活躍するお話を楽しみました。会場に展示された、使い込まれたスパイクの実物は、多くの人々の注目を集めました。

さらに、現在の高松の教員や生徒が作成した高校紹介ビデオや文化祭の取材の様子などが報告され、会場は笑いの渦につもれました。

そして、恒例の応援団演舞と校歌斉唱です。その前の吹奏楽部OBのミニコンサートから徐々に盛り上がりつつあった会場の空気はここで最高潮に達し、笑顔の中で総会は幕を閉じました。前述のキーホルダーをはじめ、うどん、ワイン、県人会誌や本年度の会誌、加藤汽船の瓦せんべいや小豆島のお酒などのお土産を手各自が帰路についたことと思います。

関西玉翠会総会は、関西玉翠会会員の会費・総会参加費、そして多くの方々からの広告や物品の協賛により成り立っています。当日の会場では香川県大阪事務所により懐かしい香川県の物品販売も実施いただきました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



二〇一七年も関西玉翠会でお会いできることを楽しみにしております。

二〇一六年総会幹事

(昭和六十年卒) 一同



岡山玉翠会



会長 多田 譲治
(昭和四十四年卒)

昨年の岡山玉翠会総会・懇親会は、平成二十八年十一月十二日(土)、アークホテル岡山にて開催しました。本部からは榎田 實会長、脇 和子副会長、牟禮 明副会長、常谷忠克副会長に、高松高校からは溝渕祥民校長先生、吉田稔教頭先生、徳島玉翠会からは長尾哲見会長、関西からは白川 滋常任幹事、東海玉翠会からは菅野正朗事務局長にご出席いただきました。岡山は讃岐高松から比較的近いこともあり、例年香川の会員の方々にも何人かご参加いただいています。五年前からは、会員の中のお一人に短い講演をお願いして身近な話題を提供していただいております。昨年は岡山大学大学院精神神経病態学教授 山田了士先生(昭和五十年卒)に「それは本当に認知症？」と題して講演していただきました。年長の出席者が多かったためか(?)、終了後には質問がひっきりなしでした。近年は岡山放送の現役アナウンサー 渡邊大祐さん(平成十九年卒)の司会にて、ビンゴゲームやご当地クイズなどを楽しみながら、少ない人数がゆえに一分間スピーチとして全員の近況もうかがうことができます、毎年和気あいあいと懇親会を楽しんでいます。

岡山玉翠会は、毎年五十人前後の出席者数で東京や関西とは比べものになりません。会員数は三百名以上いますが、比較的若い方々

は異動も多く、その動向の把握が困難となっています。これまで、玉翠会本部発行の会員名簿を参考にさせていただいておりましたが、今後は名簿発行がなくなるとかかっています。東京や関西玉翠会のように各学年毎に幹事役の人をお願いして、会員動向の把握に努める必要があるかとも思います。例年の出席者は固定化する傾向がありますが、毎年数人の初めての方の出席もみられます。今後はいかに新しい方々に出席していただくかが岡山玉翠会としての課題ですが、榎田会長のお話では、近年の卒業生の減少や会費納入の減少から、玉翠会そのものの運営の困難性もあると伺っております。

徳島玉翠会



会長 長尾 哲見
(昭和四十四年卒)

平成二十八年六月二十五日(土)午後三時より、「ザ グランドパレス」において徳島玉翠会第二十三回総会及び懇親会が開催されました。ご来賓として、玉翠会本部から榎田 實会長、脇 和子副会長、牟禮 明副会長、間島賢治副会長、高松高校からは溝渕祥民校長、川田倫寛教諭、関西玉翠会からは岡 健副会長、岡山玉翠会からは多田譲治会長のご列席を賜りました。

本年度は従来の日曜日開催から他の玉翠会支部同様土曜日開催とし、開催時間も二時間程度遅らせた午後三時からの開催とさせてい

岡山玉翠会は支部の中では最も長い歴史があり、今年は第三十九回総会となり十一月十一日(土)にアークホテル岡山での開催を予定しております。今年の講演は、市内で開業され地域医療に多大の貢献をされている佐藤源介先生(昭和五十一年卒)に「我が家で元気で長生きする秘訣」と題してお話をさせていただく予定です。他支部の皆様にも、香川への帰郷も兼ねて岡山玉翠会総会にお立ち寄りいただき、会を盛り上げていただければと存じます。また、岡山県内や近辺に異動転勤される方は、是非是非ご連絡をいただき、岡山玉翠会運営にご協力いただきますようお願い申し上げます。

いただきました。このことにより、翌日が日曜日ということもあり、時間的にも、気持ち的にも余裕を持って頂けたと思います。次回からも土曜日の開催で計画をしたいと考えております。

さて、本会の呼び物のひとつである特別講演会では、長年にわたりがんの原因究明と治療に携わってこられた本会会員の近藤和也先生(徳島大学医学部保健学科教授)より「ここまで治せる、肺がんの診断と治療」と題して、最新のがんの診断法とロボットを導入した治療法などをパワーポイントを用いて分かり易くお話をしていただきました。

懇親会では、玉翠会会長の榎田様から同窓会組織は年齢構成が会員減少により、ワイングラス型になっており、組織運営や財政面で創意工夫が必要であること、また、このままいくと二〇一八年には予算が底をついてしまいそうというなかなか厳しい話があり、会

費納入の声掛けのお願いをいただきました。

溝渕校長先生からは、話には聞いていたが、徳島玉翠会は今が初めての出席であること、少子化の流れの中で、高松の生徒は九百四十名(各学年四十人で八クラス、三学年)、生徒は減ったとは言えみんな元気に活動していること、例えば高校総体では女子フェンシングやヨット部が団体優勝、運動部と文化部を掛け持ちしている生徒も多く、クラブ加入率は百%を超えていること等が報告されました。

平成二十六年十二月、甲子園の高校野球百年を記念して「第一回全国中等学校優勝野球大会再現プロジェクト二〇一五」というイベントがあり、この大会に高松高校も出場しました。この甲子園百年記念野球の映像を流しました。今回参加の会員の中で二人がこの大会に参加されており、一分間スピーチの際、このときのお話をしていただきました。

また、今回は前回のサプライズで「恋のフォーチュン・クッキー」をみんなで楽しく踊っている映像を流し、一年前の楽しい時間を思い出すことができました。

恒例のクイズへと続き、今回も高高クイズではなく松原副会長がアイデアを凝らした徳島クイズ。こんな問題出すか?みたいなとってもディープな問題で、全問正解は非常に困難なものとなりました。

第二十三回総会は盛りだくさんの内容でしたが、ご出席いただいた本部、各支部役員の皆様と会員の方々の協力により大いに盛り上がった総会・懇親会となりましたこと、心よりお礼を申し上げますとともに次回の総会へのご出席をお願い申し上げます、報告とさせていただきます。

定時制だより

ご挨拶

教頭 吉田 稔

平成二十九年度は、新入生十名を迎えて、生徒三十名(男子十五名、女子十五名)、専任教員六名でスタートしました。

生徒は、卒業後の進路実現に向けて、夕方からの授業に真剣に取り組んでいます。私達教員は生徒の個性や希望を尊重し、挨拶をはじめとした生徒とのコミュニケーションを大切に、基礎・基本を重視する「わかる授業」に徹したいと考えています。また、学校行事にも工夫や改善を加えて生徒主体の学校行事を行い、生徒の活動を通して学校生活の活性化を図っています。始業前や放課後、職員室では、生徒たちのにぎやかな話し声が絶えません。今後とも生徒と教員のふれあいの場を多くし、一人ひとりの生徒を大切に、生徒の将来を見据えた教育を行います。

以下、本校定時制の学校行事を紹介いたします。なお、編集の都合上、「県定通総体」からは昨年度のものです。

○入学式 —男子八名、女子二名—

四月七日(金)、十名の新入生が定時制課程に入学しました。新入生代表が「強い意欲を持って、校則を守り学習に努め、立派な定時制の生徒となります。」と元氣凛々な声で宣誓を行いました。高校生活への期待と意欲が窺えました。



○屋島新入生研修

—協力した野外活動—

四月十七日(月)、屋島少年自然の家で一年次生全員が参加しました。小雨の降るなか、野外炊飯では皆が協力してカレーを作り美味し

くいただくことができました。午後からは、雨が降り出したため予定していたオリエンテーリングに代えて、体育館でバドミントン、卓球、ソフトバレーボールを行いました。短い時間の研修でしたが、笑顔一杯とても楽しい様子で活動し、実りある研修となりました。



○県定通総体 —全国大会出場—

六月二十六日(日)、香川県定通総体が開催され、バドミントン競技(男女)が出場しました。出場しない生徒たちも応援のうちわを持って、会場に駆けつけました。バドミントンでは、一年次生の大藪くんが男子個人で優勝し、全国大会への切符を手に入れました。また、女子個人では三年次生の新池谷さんが第三位と健闘しました。授業が終わってからの活動で、仕事や授業で疲れている体ながらも、毎晩練習に励む姿が見られました。選手たちはその努力の成果を十分に発揮できました。



○高高文化祭 —「祭り」をテーマに—

九月十日(土)、十一日(日)の二日間、文化祭が開催されました。

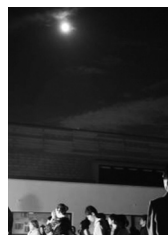
今年は、展示教室を増やし、二つの教室で「祭り」をテーマに、各学年画が展示物やモザイク壁画を作りました。また、イラスト部も「祭り」をテーマにした個人作品に加え、高高文化祭総合テーマの「志輝」になぞらえて「四季」をテーマにした塗り絵で展示に華を添えました。全員が協力し一丸となって制作したこと



で絆が深まりました。また、子どもたちとも楽しく交流できて、生徒は充実感を得たようでした。

○観月句会 —満月の月灯りで—

十月十四日(金)、今年の月は月齢十三・一でした。一五夜の次の三夜と呼ばれるお月見の日の前日で、中秋の名月の次に月が美しく見える日と言われている。ここ数年、天候で月が見えないことが多かったのですが、ほぼ満月に近い月が見えました。初めて屋上で行い、秋の夜空は予想以上に冷たかったですが、美しい月を見ながら俳句を作りました。句詠に興じた後は、お茶会をします。玉翠会館和室で、学校評議員や保護者も参加していただき、和菓子と生徒たちが点てたお抹茶をいただいで、日本の文化を味わいつつ、交流を深めました。



- ・ 古本の桜紅葉の葉あり
- ・ 秋月に心に決めた夢誓う
- ・ 秋の夜涼しい風邪が心地よく
- ・ 校庭に月を探して虫の声
- ・ 秋風に恋歌落とす君の声

○生活体験発表大会

—優良賞を受賞—

十月十五日(土)サンポートホールで県大会が行われ、本校代表として四年次生の白井さんが出場し「筋の光」と題して発表しました。中学の辛い経験を経て、本校定時制への進学を決意、入学後も様々な不安や悩みを抱えながらも充実した四年間の高校生活についての内容で、「将来の不安で悩んでいる人に対して、その人が踏み出すキッカケ



になれるよう、誰かの一筋の光となるように」と締めくくりました。支えてくれた家族や友人への感謝の想いも伝わり、発表を終えた後の拍手は、会場の人達の心を熱くした証でした。

○校外研修

—旧閑谷学校での論語朗誦—

十月二十八日(金)、岡山県備前市にある特別史跡「旧閑谷学校」にいきました。国宝に指定されている講堂で『論語』の朗誦を体験したり、重要文化財についての説明を受けたりしました。『論語』の講堂学習では、先生から「仁」と「礼」の言葉の意味について説明があり、先生の後について声を出して読み上げました。正座をしながらの学習で姿勢を保つことに苦労する生徒もいましたが、「論語が時に人生の基盤になっている」と感想を書く生徒もいました。



○予餞会

—卒業生をねぎらいました—

二月十日(金)、卒業を迎える四年次生に、生徒会が中心となり、各学年が会場を飾り、軽食やお菓子を準備しました。和やかな雰囲気の中で談笑し、ゲームを楽しみました。また、有志の出し物も登場し、大いに盛り上がりました。

○卒業式

—晴れやかな笑顔で—

三月三日(金)、四年次生八名が卒業しました。卒業式の後、H R教室で保護者の方々が見守るなか、担任の榎樺先生と一しよに四年間歩んだ日々を振り返り、念願の卒業証書を手に入れました。その後、南門に移動して記念写真を撮りました。



通信制だより

ご挨拶 教頭 岩崎 浩明

通信制課程では、昨年度三十三名が卒業し、十名が大学・専門学校等へ進学、七名が新規に就職しました。

本年度は、新入生三十四名を迎えて二百七名でスタートしました。生徒ひとり一人が、目標を持って充実した学校生活が送れるよう取り組んでいます。

以下、昨年度からの学校行事を紹介します。

○卒業式 三月三日(平成二十八年年度)

本校体育館において、全・定・通合同の卒業証書授与式が厳かに行われました。平成二十八年度卒業生総数は三百六十二名、通信制課程の卒業生は三十三名。通信制の卒業生を代表して橋本美保さんに卒業証書が授与されました。記念撮影の後、二階 AV センターで表彰授与式が行われ、十四名が各賞を受賞しました。



○入学式 四月九日(平成二十九年年度)

穏やかな花曇りのなか四月九日、平成二十九年年度入学式が行われ、通信制課程に一年次生二十五名、編入生八名、特科生二名の合わせて三十四名の新入生を迎えました。



入学式は開会のことば、国歌斉唱ののち溝渕祥民校長先生から「歴史と伝統ある本校の一員として入学されました。自ら学ぶという意志をもって一人ひとりが目標に向けて努力してください。」という式辞、溝渕武範同窓会長から「人間は一人では生きていきません。心から向き合える学問と友人を見つけたい。自分と他者との営みの中にあるふれあいを大切に輝く未来へ向かってください。」という祝辞をいただきました。

た。新入生を代表して一年次生川田聖晃さんが新入生を代表し宣誓を行い、校歌を斉唱して終了しました。その後、新入生は晴れ晴れとした表情で正門で記念撮影をしてこれからの高松高校での生活に思いを馳せていました。

○つどい 五月二十八日(平成二十九年年度)



心となって企画し、通信制に新しく入ってきた仲間を歓迎する最初の学校行事です。今年度は四十九名が参加しました。午前中は、体育館で特別ミーティングとソフトバレーボールを行いました。特別ミーティングでは同窓会長の溝渕さんをはじめ卒業生の公文さん、貴顕さんにもミーティングに参加していただき、貴重な話を聞くことができました。また、ソフトバレーボールでは四班が優勝しました。午後からの講演会は香川大学工学部教授の長谷川修一氏を講師にお迎えして「地域の災害特性を知ろう」という演題でお話いただきました。南海トラフ巨大地震や直下型地震についての解説や対策ならびに香川県まるごとジオパーク構想について図表や写真を用いてわかりやすく講演していただき、自分の住む地域についてしっかり学んでいかなければいけないと感じました。

○県定通総体開催 六月二十六日(平成二十八年年度)



六月二十六日(日)第六十五回香川県高等学校定時制通信制総合体育大会が県内各会場で開催されました。本校通信制からは十九名の選手が、卓球、陸上競技に出場し、熱戦を展開しました。卓球では男子個人で曲原誠さん(四年次)がベスト4入りを果たし、二度目の全国大会への出場を果たしました。陸上競技では十五名が各種目で活躍し、男子は二年連続優勝、女子は三十二年ぶりの優勝を果たして総合優勝しました。曲原さんは東京の駒沢体育館で八月二日から開かれる全国大会に出場し、活躍しました。

○生徒会リーダー研修 七月二十四日(平成二十八年年度)



生徒会メンバー有志を加えて合計十六名、生徒会の活性化の契機として行われる恒例行事です。今年は、平和学習として高松空襲を記録する会から岡田昌子さんを講師としてお招きし「日本の戦争と高松空襲」の講演後、校外に出て法泉寺山門・高松市役所など空襲の爪痕をじかに見ました。午後からは香川大学医学部准教授宮武伸行先生を講師として生活習慣病やストレス対処法について実際に体を動かしたりしながら学びました。学校で日頃できない活動ができてとても有意義な一日でした。

○校内生活体験発表会 九月四日(平成二十八年年度)



五階玉翠ホールで第四十九回校内生活体験発表会が開催されました。各学年から選出された二名の代表者が学校生活や人生などのテーマで発表しました。どの発表もすばらしい内容でした。十名の審査委員の審査の結果、一位に三年次生の上井梨瑚さんが、二位に四年次生の宇野恵理さんがそれぞれ選ばれました。十月十五日(日)にサンポートホールで行われた香川県定時制通信制生活体験発表大会に出場した上井さんが、優秀賞に輝き、四国地区の通信制生活体験発表大会(テーマ審査)に出場した宇野さんは努力賞を受賞しました。

○文化祭 「通信制の識」 九月十日(出)、十一日(回)



二日間わたって、文化祭が開催され、「志輝」という全体テーマのもと本校通信制は「通信制の識」をテーマとして教室展示を行いました。今年は「平和」と

「健康」について学習する機会があり、「平和な社会において心身ともに健康に過ごすには」という課題について生徒会が中心となり、展示に取り組み、見識を披露しました。この他、通信制を紹介する展示、芸術選択者や有志による作品の展示などもあり、例年のように充実した展示となりました。準備や出展に協力された皆さんありがとうございました。

○体育祭 十月九日(平成二十八年年度)



十月九日(平成二十八年年度)第四十二回体育祭が十月九日(日)に本校体育館で六十七名の生徒ほか、家族十五名が参加して開催されました。入場行進、開会式の後、子ども達もおおぜい参加したパン食い競争や長縄跳びのほか、全員参加の玉入れに大いに盛り上がり、その後のソフトバレーボールに熱戦が繰り広げられました。今年は、六種目中四種目で一位を獲得した三年次生が総合得点五十四点となり、追いつける四年次生(四十三点)を振り切り、総合優勝を果たしました。以下の成績は、三位一年次生、四位二年次生でした。午後からは日本赤十字社香川県支部から指導員の方をお招きして救急処置講座を行いました。

○遠足 十一月二十日(平成二十八年年度)



通信制生徒・職員七十六名はバス二台に分乗して高知県の高知市にむけて出発しました。バス降車後、各年次で高知城をバックに集合写真を撮影して高知市内の散策に移りました。高知城・日曜市・龍馬の生まれたまち記念館・ひろめ市場など高知市内の観光スポットに各自出かけていき、高知を十分に堪能できました。高知城は天守閣が三層六階で高知市内が一望でき眺めすばらしく、また龍馬の生まれたまち記念館では当時の高知の城下馬のの様子や歴史、龍馬誕生から脱藩まで少年時代を中心に映像や模型などでわかりやすく紹介されており、坂本龍馬について学習することもできました。天候もよく普通のスクーリング日には味わえない充実した一日でした。

校 友 会 成 績

運動部の軌跡

陸上競技部

【男子】

▽県高校新人大会
▽三段跳
二位 中村 仁
▽二〇〇m
三位 木村圭一朗
▽四×一〇〇mR
三位 有岡・木村・藤田・越川

▽県高校総体

▽一〇〇m
二位 木村圭一朗
▽四×一〇〇mR
一位 佐藤・木村・藤田・越川
▽八種競技
二位 藤田・越川
三位 中村 仁
▽三段跳
三位 中村 仁

【女子】

▽県高校新人大会

▽八〇〇m
一位 大谷 百香
▽四〇〇m
三位 森 麻菜
▽五〇〇mW
三位 大西 春佳
▽四×一〇〇mR
三位 東・森・石井・松岡

▽四×四〇〇mR

三位 松岡・大谷・石井・森
▽県高校総体
一位 大谷 百香
▽八〇〇m

水泳部

【女子】

▽県高校新人大会
▽学校対抗
総合三位
▽四〇〇mR
三位 野口・徳田・山本・正岡
▽四〇〇mメドレーR
三位 正岡・山本・野口・徳田
▽五〇〇m自由形
二位 徳田 彩乃
▽二〇〇m平泳ぎ
三位 山本陽南向
▽県高校総体
三位 徳田 彩乃
▽五〇〇m自由形
三位 徳田 彩乃

バスケットボール部

【男子】

▽県高校新人大会
▽ハンドボール部
三位
▽県高校総体
三位
▽バドミントン部
三位
▽県高校新人大会
▽シングルス
二位 多田羅万機子
▽県高校総体

【女子】

▽県高校新人大会
▽ハンドボール部
三位
▽県高校総体
三位
▽バドミントン部
三位
▽県高校新人大会
▽シングルス
二位 多田羅万機子
▽県高校総体

【女子】

▽県高校新人大会
▽ハンドボール部
三位
▽県高校総体
三位
▽バドミントン部
三位
▽県高校新人大会
▽シングルス
二位 多田羅万機子
▽県高校総体

剣道部

【女子】

▽県高校新人大会
▽個人
三位 鶴川ひかり
▽県高校総体
三位 鶴川ひかり
▽団体
二位 鶴川ひかり
▽個人
二位 鶴川ひかり

ヨット部

【男子】

▽県高校新人大会
▽総合
二位 十枝・増澤
▽FJ級
二位 増田・福家
▽総合
二位 増田・福家
▽FJ級
二位 増田・福家

【女子】

▽県高校新人大会
▽総合
三位 村上・谷本
▽FJ級
三位 岡田・間島
▽総合
三位 岡田・間島
▽FJ級
三位 岡田・間島

【女子】

▽県高校新人大会
▽総合
三位 近藤・石田
▽四二〇級
三位 近藤・石田
▽県高校総体
三位 近藤・石田
▽総合
三位 近藤・石田
▽FJ級
三位 近藤・石田
▽FJ級
三位 近藤・石田

▽県高校新人大会
▽総合
三位 近藤・石田
▽四二〇級
三位 近藤・石田
▽県高校総体
三位 近藤・石田
▽総合
三位 近藤・石田
▽FJ級
三位 近藤・石田
▽FJ級
三位 近藤・石田

ありがとうございました

高松高校へ以下のご寄付をいただきました。

昭和十七年、藤本豊子様より
平成二十八年五月、三〇〇万
学校の修繕費用等に活用させていただきました。

平成二十五年卒 卒業生一同様より
平成二十八年六月、ベンチ三台

昭和四十一年卒、翠友会様より
平成二十八年八月、プロジェクター一式

28年度先輩講演会

「21世紀を生きる君達へ」
兼 元 俊 徳 氏 昭和39年卒

世紀を生きる



熱心に語ってくださる兼元氏

二〇一六年十月二十五日、通算三十八回目となる第二回玉翠グロリアアカデミー（GGA）先輩講演会が本校体育館で開催された。今回のゲストスピーカーは兼元俊徳氏。一九九七年にもご講演され、今年で二回目となる。兼元氏は一九六四年に本校を卒業され、東京大学法学部に進学された。その後警察庁採用となられ、人事院長期在外研究員として、米国に留学され、一九八十年からフランス大使館で一等書記官として活躍された。

そして一九九六年には国際刑事警察機構（ICPO）総裁になり大活躍された。二〇〇〇年に警察庁国際部長の職を退職された後は弁護士として、社会の第一線で仕事をされていらつしやる。

講演では「21世紀を生きる君達へ」という演題に沿って、ご自身の高校時代の思い出から始まり、大学生活のこと、そして社会人となられ携わった三十八年間の公務員生活のことを中心に寛闊なご様子で語ってくださった。特に印象に残ったのは、先生は大学二年生の時に「最初に国家公務員、退官後に法律家」と決めていらつしやったこと。自分の生き方をとらえ直す、またとない機会となった。

文化部の軌跡

放送局委員会

第33回香川県高文連放送部門発表会

▽アナウンス部門
一位 香西 紗英
三位 中野ゆりか

▽番組制作（ビデオ部門）
一位 山田 崇太
三位 上里 綺音

▽番組制作（オーディオ部門）
三位 香川知三人

演劇部

香川県総合文化祭 優秀賞（二位）
教育委員会長賞

【男子】

▽県高校新人大会
▽フルール
三位 青山 円
▽エペ
二位 青山 円
▽フルール
三位 青山 円
▽エペ
二位 青山 円
▽県高校総体
三位 青山 円
▽団体
三位 青山 円

【女子】

▽県高校新人大会
▽フルール
三位 青山 円
▽エペ
二位 青山 円
▽フルール
三位 青山 円
▽エペ
二位 青山 円
▽県高校総体
三位 青山 円
▽団体
三位 青山 円

平成二十九年 度 教職員人事異動

【転出・退職】

教諭	川田 三郎	退職
教諭	大野多映子	退職
教諭	三枝 宗久	退職 県教委事務局へ
教頭	黒島 俊哉	坂出高校へ
教頭	大平 徹	善通寺第一高校へ
主幹教諭	長尾 裕隆	丸亀高校教頭へ
教諭	岡崎 仁一	高松商業高校へ
教諭	北谷 俊雄	三木高校へ
教諭	伊藤 環	高松桜井高校へ
教諭	中村 昭浩	高松西高校へ
教諭	立山 徹	高松南高校へ
教諭	榎樺由香梨	笠田高校へ
事務	宮武 雅佳	知事事務局へ

【新規・転入】

教頭	古市 博文	石田高校より
教諭	岩崎 浩明	高松西高校教諭より
教諭	榎橋 朋彦	三木高校より
教諭	福家 寛幸	善通寺第一高校より
教諭	八村倫太郎	盲学校より
教諭	向原 成剛	香川中央高校より
教諭	齋藤 秀子	高松南高校より
教諭	餅 知隆	高松北高校より
教諭	高田 孝行	県教委事務局より
教諭	大野 知見	三木高校より
教諭	榎 郁子	高松養護学校より
教諭	三崎 輝久	高松南高校より
教諭	樋口 篤	高松西高校より
常勤講師	畠山ともみ	新規採用
時間講師	谷 佳祐	新規採用
事務	岡田 祐樹	農業経営高校より

平成29年度 大学合格者数

(平成 29 年 4 月 10 日現在)

1. 国・公・私立大別合格者数

学 校 名	人 数	学 校 名	人 数	学 校 名	人 数	学 校 名	人 数	学 校 名	人 数
北 海 道 大	3	香 川 大	43	慶 応 大	18	立 教 大	6	近 畿 大	38
筑 波 大	4	愛 媛 大	6	駒 沢 大	2	早 稲 田 大	32	関 西 学 院 大	32
埼 玉 大	1	高 知 大	3	芝 浦 工 大	3	フェリス女学院大	1	甲 南 大	6
千 葉 大	2	九 州 大	7	上 智 大	3	愛 知 医 大	1	神 戸 女 学 院 大	3
お茶の水女子大	1	福 岡 教 育 大	1	昭 和 女 子 大	2	南 山 大	1	私 神 戸 女 子 大	5
電 気 通 信 大	1	長 崎 大	1	昭 和 薬 大	1	京 都 産 業 大	2	私 神 戸 薬 大	7
東 京 大	8	熊 本 大	2	成 蹊 大	1	京 都 女 子 大	13	立 兵 庫 医 大	1
東 京 医 歯 大	1	国 立 大 合 計	227	成 城 大	2	京 都 薬 大	7	立 神 戸 親 和 女 子 大	1
東 京 外 大	1	国 際 教 養 大	1	聖 心 女 子 大	1	同 志 社 大	89	武 庫 川 女 子 大	4
東 京 工 業 大	1	首 都 大 東 京	2	中 央 大	13	同 志 社 女 子 大	11	神 戸 常 磐 大	1
一 橋 大	2	岐 阜 薬 大	1	津 田 塾 大	4	ノートルダム女子大	1	大 岡 山 理 大	3
横 浜 国 立 大	7	愛 知 県 立 大	1	帝 京 大	1	立 命 館 大	107	川 崎 医 療 福 祉 大	1
信 州 大	1	大 阪 市 立 大	7	東 京 女 子 大	6	龍 谷 大	3	大 徳 島 文 理 大	4
静 岡 大	1	大 阪 府 立 大	3	東 京 農 大	1	大 阪 医 大	2	学 福 岡 大	1
京 都 大	18	兵 庫 県 立 大	1	東 京 薬 大	4	大 阪 薬 大	4	立 命 館 アジア太平洋大	1
京都工芸繊維大	3	岡 山 県 立 大	1	東 京 理 大	15	関 西 大	39	そ の 他	2
大 阪 大	22	県 立 広 島 大	1	東 邦 大	1	関 西 医 大	1	海 外 大 学	1
神 戸 大	19	香 川 保 健 医 療 大	1	日 本 大	8	関 西 外 大	3	私 立 大 合 計	581
学 奈 良 女 子 大	6	公 立 大 合 計	19	日 本 女 子 大	3				
鳥 取 大	3	私 岩 手 医 大	1	法 政 大	10				
岡 山 大	30	立 自 治 医 大	1	星 薬 大	1				
大 島 大	17	大 青 山 学 院 大	15	明 治 大	26				
徳 島 大	12	学 習 院 大	1	明 治 学 院 大	3				

2. 国・公・私立大学学部別進学率 (%)

学 部	文 学 部	法 政 学 部	経 済 学 部	理 学 部	工 学 部	農 林 学 部	医 学 部	薬 学 部	生 活 科 学 部	体 育 部	芸 術 部	教 育 部	そ の 他	合 計
	15	12	14	2	21	6	15	5	2	1	0	5	2	100

◆◆◆玉翠会からの図書館への寄付金について◆◆◆

平成28年度、東京玉翠会より寄付金 150,000 円をいただき、下記の図書を購入致しました。

小学館『日本美術全集 全20巻』のうち1～10巻

145,800 円

玉翠関係寄贈図書

渡辺 悦司氏 (昭 44 年卒)
『放射線被曝の争点』 1 部

鎌野 幸子氏 (昭 34 年卒)
『回帰舟 内なる海へ』 1 部

黒川 知文氏 (昭 48 年卒)
『もっとよくわかる世界宗教 3 ユダヤ教編
苦難から生まれたユダヤ教の絆』 1 部

湯沢 啓子氏 (昭 32 年卒)
『もうひとつの動物会議』 1 部

谷原 望 氏 (昭 51 年卒)
『讃岐高松石清尾山石塚の研究』 1 部

香西 秀信氏 (昭 51 年卒)
『反論の技術—その意義と訓練方法』 1 部
『読んですぐ身につく「反論力」養成ノート』 1 部
『論理病をなおす！—処方箋としての詭弁』 1 部
『レトリックと詭弁 禁断の議論術講座』 1 部
『議論入門 負けないための5つの技術』 1 部

永井 勝雄氏 (昭 36 年卒)
『小説・高松高校の男たち』 1 部

高松高校図書館

平成二十八年度

会費納入者

旧職員安部勝雄、池西裕、石田茂登、石丸祥子、出射恵美子、井上嘉久、植田誼、浮田清市、靱俊男、大野治史、大野郁子、大屋敷孝、岡崎仁一、海面豊、鏡原壽、笠井幸博、門脇禎人、金澤和子、菊池和也、北内道代、久保豊、久米正篤、黒島俊哉、香西新五、小坂悦夫、小坂真智子、小松昭夫、斉藤嘉之、重松佐栄子、柴田節、杉岡保之、高井忠、武田宣也、多田幸雄、玉井清弘、筒井優、鶴身哲士、寺師明美、土居直哉、富田楨男、長尾裕隆、中田啓之、中西良典、中野望、秦敏博、畠山敏明、幡鉾千景、馬場博史、福家智子、藤枝好、藤本純夫、細川典宏、細見良一、松岡宏一、松本聡司、松本澄洋、真鍋達雄、真鍋泰子、真鍋正明、丸谷幸彦、三木武司、溝渕香代子、溝渕祥民、三谷敏雄、宮西比呂志、本澤大弘、山下行行、吉川正美、和田浩

高 中

昭一 瀬尾清、野口吉美
昭二 秋田稔
昭三 村井進
昭四 太田怜、灘波重明、原口静彦、松下和朋
昭五 綾川良清、大西正雄、川崎正明、左達史朗、十河京一、伏見章、藤井光治、松尾繁、丸山修
昭一六 市原薫、河本和友、左光志郎、佐々木芳文、末包盛之、蓮井良恵、福家幸二、古市正俊、松岡慎一、松島良平
昭一七 大原幸雄、塩田治雄、田中貞三、原内平、植田睦

夫、三好栄一

昭一 八岩部隆、佐々木博雅、斎藤則雄、鍋島綾雄、新田忠夫、廣瀬泰久、三浦宏、宮田和信、毛利忠幸、森幸夫
昭一九 赤木茂樹、遠藤利三郎、河西正充、北島千里、香西郁哉、田中敏晴、竹内昭二、根本栄記、原田暹、平尾光俊、廣瀬脩一、藤本弘、北條了一、三野貞文、森博直、森正者、安岡正温、古武秀夫、和波幸吉
昭二〇 (五〇回) 安徳定一、入江隆夫、植松浩一郎、小川純、大津新平、大眉博、角陸俊明、川上美秀、木内正夫、木田義彦、楠正幸、栗永照彦、蒔渕昭、佐野俊介、堺哲雄、竹林謙次、玉越定則、濱坂猛、廣川敏博、前田輝夫、三好迪、牟禮剛、山口悖、渡邊典雄

昭二〇 (五一回) 阿波谷秀俊、穴吹莊三、入谷啓一朗、植田弘、大熊象三、大竹哲也、大西豊秋、大久保信行、太田保、梶原晨、金森悟、萱原博美、川窪英之、木谷勤、黒田昌男、小西勝元、香西昭巳、塩田良弘、柴野照博、多田輝夫、徳永 均、蒔田敏昭、三宅洋三、横井正昭
昭二一 前田勇、松井照彦、塚田教一、真鍋舜治、水野俊夫、明石弘道
昭二二 池内英夫、岡田利宏、金谷庚午郎、河西康夫、生島和士、谷本伊久夫、玉川和隆、新田富也、初瀬恭次郎、平井常數、藤澤龍一、藤島正行、向井正儀、森田公博

昭二三 阿南公久、綾田修作、岡内伸一、笠井亨、川越裕也、倉本仁、佐野宏哉、酒井富忠、椎本章二、煙草谷十三郎、長尾秀也、平岡雅朗、藤沢恒代、村川正良、山田敬二郎、横内義勝、横本敏之、若井亮一
昭二四 井上功三、岡田健、久米房之助、小松信幸、中條利祐、中村助弘、原哲三、福田俊治、藤本孝雄、吉野頼寿
晩 翠
昭八 高木ハルエ、山下千恵
昭九 宇多田英子

昭一〇 黒川敦、細谷ヨシ子

昭一一 和泉孝子、長尾年志子

昭一二 丸尾喜美子

昭一三 石川綾子、越智道子、三浦貞子、宮武英子

昭一四 秋風美登利、香西久榮、高木ケイ子、野田豊子、藤澤あさ、間島秀子

昭一五 上村静子、大岡郁子、大森公子、久保桂子、酒井麻名、高德多美子、堤久子、西岡定子、藤田幸子、堀井英子、松尾フジエ、吉田カツ子

昭一六 阿部愛子、太田ヤヨ子、岡葉子、尾方光栄、笠井愛榮、久保ツイ、住田フミ子、清家華子、原田光代、福家恭子、古川喜美子、吉田寿子、渡辺佐喜子

昭一七 秋山時子、綾美栄、漆原千枝子、岡信子、小倉敏子、運澤シヅ子、川崎二三、高木敬子、天雲美代子、逸見治枝、前田俊子、松原キヨエ、宮武美恵子、村尾幸子、依田さや

昭一八 赤沢芳子、安藤清子、池田喜美恵、上浜宣子、上原祥子、大槻芳子、岡敏子、熊野弥生、櫻又フミエ、島紀美子、白井文子、瀬詰照子、武田幸栄、辻慶子、永崎光子、中田文子、永田明子、信谷文子、三宅スズ子、宮崎トシ子、山下節子

昭一九 青木富美子、雨宮玲子、石井翠、岩井晴子、太田清江、岡坂晴子、小比賀清子、鎌野咲、川渕信子、北原治子、國方寿子、里野美砂子、沢井志津子、繁谷一子、高尾富美子、高田和子、高松延子、田村厚子、中西良子、畑中静枝、平井弘子、森岡香代、脇和子、脇節子

昭二〇 (4) 青木喜美子、石原京子、和泉貞子、井上茂子、岩井武子、恵美康子、太田美代子、大山禮子、小田民恵、越智カエ、川根啓子、川根淑子、佐藤貴代子、佐野富美子、助吉ミツ子、陶山和子、富家喜美子、中村瑞江、難波照子、波多和代、八田明子、馬場照、濱坂都貴子、平田董、伏見智子、古竹佳子、満岡式子、正見武子、松島千代、松原弥栄子、溝渕智子、三谷次子、村上典子、

村上澄栄、元山美都子、山崎智恵、山田洋子、山田道子、吉原千香子、若生祥子、渡辺たま子

昭二〇 (5) 芦沢カズ子、苧坂香代、加藤ゆき、亀山隆子、神原郁子、岸本智恵子、岸本美恵子、黒川康子、桑内道子、合谷ヨシエ、小谷文子、佐々木結子、妹尾秋子、玉岡敏子、中村カヤ子、原田路、藤岡多鶴子、松岡千恵子、松本洋子、宮脇シズ子、三好可寿江、村田綾子、山下信子、山代苛津子、横田千鶴子、若松美代子

昭二一 安達恵美子、泉本禮子、出渕寛子、伊藤ヒサエ、井上幸子、植田美重子、江崎隆子、大眉多美子、岡田敏子、長孝子、神谷順子、川下郁子、岸田雅子、楠恭子、桑原和子、河野桂子、重村雅子、下浦文子、十河操、武部恵子、多田郁子、田所ヤエ子、谷本文子、樽井良江、富田久子、中村静子、中村玲子、成瀬トモ子、西川経子、西山恵美、長谷部みちよ、廣瀬芳子、藤掛和子、二川幸子、古市寿子、堀川幸、真砂恵美子、森千鶴、山崎朝子、山田礼子、山本富士子、吉野登嗣子

昭二二 井内菊代、梅田礼子、岡本良子、喜安朝子、佐々木熙子、高嶋桂子、手島芳子、鳥飼敦子、鍋島京子、西尾信子、松田郁子、宮崎照子

昭二三 赤松都子、赤松澄子、穴吹瞳、伊藤悦子、伊藤芳子、鶴川リツ子、岡民子、岡田町子、小川隆子、加藤京子、鎌田良子、亀井恵美子、喜田芳子、香西照枝、神浦律子、小林照子、斉藤京子、斉藤米子、十一千賀子、白石晶子、菅原節子、田尾敏子、瀧野八重子、田村ユキ子、常谷俊枝、角田シズエ、鶴見ツタ子、出口ツタエ、都甲タカ子、中村暢子、根本道子、長谷川和子、原田恵美子、樋笠道子、東原美代子、星川八重子、増田美智子、松岡道代、松原淳子、松本弘子、矢田アイ子、吉原徳子

昭二四 淡河千鶴子、井川弘子、石原卿子、泉川良子、泉川壽子、板坂恒子、内田民子、上井茂子、大久保和子、太田通子、奥村久美子、加藤梶子、川田マサノ、木内テル子、木村晶子、河野恵美子、小西道子、小林友子、佐々

木慶子、渋谷澄枝、志村澄江、鈴木伸子、瀬尾任子、関本豊子、竹島頼子、武田節子、但木幸子、谷澤美栄子、玉城玲子、辻幸子、林輝子、林明子、林順子、真鍋温子、水野美津子、三原文子、宮宇地美恵子、宮武久子、安田道子、吉岡千鶴子

女子高岡久美子、岡部澄子、河野孝子、竹井淑子、野口喜世子、蓮井和子、八田恵美子、福田文子、星野昭子、水野綾子

高 高

昭二五相谷勝一、朝岡卓見、井原昭三、石原覚、泉川三之助、小比賀剛一、大西洋一郎、大山貞雄、岡督二郎、岡田正宣、河西孝信、木村貞寧、木村崇也、木村武彦、北浜清、香西充、佐野昭三、塩井敏治、末澤勝、田中敏弘、多田栄、多田幸男、高島健、立川重彰、筒井勝義、鶴居健、戸澤清行、中村清、南原実生、西本建治、浜畑裕、東原芳彦、久住泰司、平見芳和、古市亮三、古谷哲雄、堀田一義、町川洋三、松村和男、宮武孝造、山口功男、山谷敏夫、山本竹彦、穴吹澄子、伊藤良子、今長谷見沙、大島陽子、片桐チツ、鎌田桂子、木村寿美代、斉藤尚子、阪本香子、佐藤清子、都倉恵美子、遠山絢子、中島マシ、藤谷多美、植塚安得、渡部和子

昭二六浅田宜仁、井上之、井手上幸一、石田守、石丸芳孝、泉亮、泉川和雄、今竹勝、入谷幹郎、岩瀬健三、岩田和哉、雄倉孝尚、大須賀選、大比賀友喜、太田英章、太田尚孝、岡内傳、香川勝、川西康男、木下文夫、木村高夫、小林克己、佐野俊介、七條昌一、島田清隆、末澤正則、杉山梧郎、鈴江敬男、立川皓、谷毅夫、都築顯、外島英彦、富岡慎一、鳥飼孝二、中村修、中村咲三、葉原耕平、平井二郎、真柴敬三、真鍋恒雄、松尾英夫、松岡正近、松本利夫、溝淵悟、安松公、山下尚孝、吉野宗、赤松貞子、安部琴美、荒川英子、飯島千枝子、伊賀智壽

子、磯部祐子、稲田公子、大林淳子、岡田愛子、小國照子、大佛和子、小比賀貴美子、香川貞子、梶富喜子、川井慶子、川越久子、河西慈子、冠野孝子、北島定子、木村弘子、日下澄子、國宗啓子、久保あけみ、小西玲子、小林美代子、酒井玲子、櫻井文榮、篠田孝子、四宮喜美子、島田美津子、島田美佐子、下津汎子、鈴江冴子、砂辺照代、十河千恵子、竹島十三子、多田博子、多田志ず、多田章子、田中博子、田中素子、津島暁子、樋端展子、戸城貞子、富山弘子、中北恭子、永田美恵子、中野圭子、永野和世子、中山桂子、灘波文子、西村慧子、根岸茂、野村美栄、初瀬保子、濱田弘子、濱谷佐智子、原村潤子、板東節子、深田由紀子、福原ヨシ子、藤田喜子、前田富治子、蒔田美智子、松坂徳子、松山裕子、真鍋ヒロ子、三木宣子、三野幸子、六車幸子、森幸子、森武子、山名昭恵、山本カツ子、吉田玲子、和良地みさ子、安田秋雄

昭二七井上義武、井川久之、池内皎隆、池田乾一、入倉満、江口英彦、小原敬、太田一彦、岡義男、岡野博通、岡本節夫、角陸正健、金井孝文、北山睦往、久保道弘、日下聰徳、久世倫正、小島徹、小西益二郎、佐々木史朗、佐藤哲男、斉藤弘、真田誠一、塩田賢治、塩谷健、田村日出男、多田昌弘、高橋正、高松一幸、滝川渡、竹内照彦、辻正司、中田春雄、永森敏行、長尾薫、濱本藤夫、平畑博敏、広瀬英典、藤岡幸彦、藤本恒雄、堀池進、真鍋総人、増田泰矩、松井正、松岡直樹、森尾一美、矢野信彦、藪本英俊、山下祥治、山下登美雄、山本等、吉田正、相谷美智子、明石多美子、朝江美恵子、阿波谷智恵子、池田倫子、石津則子、泉谷淳子、今澤暉子、上坂小夜子、大池恭子、大浦廣子、大久保弘子、大塚洋子、大塚寿子、大西翠、大西晶子、大西久美、大野綾子、岡康子、岡内博子、長船琇子、香川時絲子、柏原利衣子、勝又忍恵子、北岡貴美子、木下治代、木村栖子、木村多美子、木村裕子、樹山ちか、久保嘉代子、熊谷慶子、栗山明子、桑島幸子、近藤恵美子、作花節子、塩田富美子、

高須芳子、竹内昌子、武下とし子、多田幸子、田中ひろみ、谷野瑞代、谷本久美子、谷本島代、土田孝栄、徳田佐代子、徳山久美子、永井美枝、中谷浩子、中野房枝、中村富久子、中村滋子、仁木圭子、西浦正子、蓮井玲子、長谷川順子、林越幸、廣瀬朔子、藤島克子、藤本演子、松原大子、真辺千也子、水島寿栄子、水嶋浅茅、水野久子、水野道代、三村祥子、三宅美智子、宮武陽子、宮地昌子、三好幸子、村尾シズ子、安川芳子、山口芳子、山田郁子、山本良子、山本洋子、横井義子、吉田良子、ルスタム禮子、渡辺阿佐美、内海彰子、北野敬子、久保和子、福家市子、藤堂正晴、湊谷久美子

昭二八浅田正夫、天野彰、荒木靖、池田孝、石川卓、今岡哲雄、植松繁太、小倉典康、尾形嘉紀、大塚裕康、大林誠一、岡俊二、加宮由登、川口春陽児、小嶋治男、児玉正豪、佐々木寿、齋藤敏夫、鹿海武、品治邦男、昌司照雄、白石典彦、泉保哲男、十河弘、多田信夫、高橋淳二、高橋正、竹内靖明、谷隆夫、鶴川舜一、中村国夫、中山久、永井正敏、浜元茂、平田實、福田隆有、安田幸弘、真室哲也、松浦美博、三好知三、溝淵潔、宮本寛治、毛利滋、森昌博、森恵洪、山口弘之、山西守、横田大和、渡辺恒明、青木泰子、秋山幸子、石丸授子、出石賀代子、泉川富栄、井上洋子、位野木悦子、岩佐志津子、靱紀子、太田宜子、大畑峯子、大山節子、岡内節子、尾形礼子、落合佳子、片山恭子、鹿庭緑、萱原洋子、木村典子、久保和子、窪田紀子、小谷主子、児玉昌子、菰田信子、真田登茂子、塩谷智恵子、信濃ヨネ子、末澤富美子、須賀原幸子、鈴木新子、鈴木友子、須藤淳子、関谷聡子、造田純代、田坂宣子、塚田千賀子、寺田邦子、寺林悦子、長尾久子、中島倫子、長野廣子、中村千恵子、西田節子、野正照美、畠山寛子、平田啓子、細谷誠、堀池和子、前川初枝、増井清子、町田照代、松井順子、松本美津江、溝淵栄、村上瑛子、山下圭、山下敏子、吉田富久美、吉田留美子、米女富美子、諏訪綾子、高松千鶴子、多田

美美子、松浦照子、村上雅子、綾田兼一、真鍋義昌
昭二九栗田俊彦、安岐正弘、池内章、石川修治、石橋治、江口昭彦、雄倉幸昭、大川明、大西正則、奥村勉、加藤卓、加藤芳宏、小早川輝雄、小松範任、薦田快公、佐藤正美、佐藤重廣、首藤隆司、炭田順作、関正弘、高橋等、高橋晃、中條泰行、都村忠弘、西原正純、西村秀俊、西本親吉、波多等、長谷川汎、濱野善之助、東原康雄、福田哲夫、福西久好、藤本稔、二川正之、堀川弘海、真鍋浩三、間島豊、増井邦彦、三木彬嗣、山田勇、山田久雄、吉田晃、青野真佐子、阿賀谷京子、浅田肇子、井川和子、伊丹泰子、岩崎恭子、上野泰子、氏家弘子、漆原佳子、漆原英子、大熊明子、太田幸子、太田恰子、小川和子、鎌野泰子、亀山圭子、岸本佳寿子、橋高精、阪下美智子、佐藤靖子、篠原緑、島原教子、新谷鈴子、曾我部れい子、田中澄子、弾正原淳子、永井眞智子、中村成子、中村敬子、羽坂翠、蓮井貞江、林民子、福家知子、藤井和代、藤本克子、藤本方子、堀田她子、松永富美子、眞鍋洋子、眞鍋千賀子、三浦昭子、三好良子、宗田純子、村上民子、安松玲子、矢野穂子、山口元子、山地由子、山下紀子、山城誉子、山本道子、湯谷節子、和田弘子、黒川民子、辻敦子、新田まち子、藤田孝栄、松崎淳子、井坂奈津子、大林正敏、中村一美、松田幸則、青木千夏子

昭三〇池添善山、泉川嘉輝、稲井敬、植田明、植松修三、江川宏、遠藤俊一、大和政賢、加宮利貞、金谷武明、木村貢、酒井直毅、塩田正章、篠原俊一、末澤進、末澤久和、関善夫、辻孝夫、鶴尾章、戸田千之、豊田治、中村博實、仁後陽一、西岡喬、原義明、原啓式、福家皎、藤本烈、前川久和、前谷亮三、増田猛、松岡陽一、三谷浩一、三野秀富、宮武正、宮武寛、宮本宣明、村山守信、森下一仁、森本宗明、安岡昭好、山口慶弘、山下富士夫、吉川孝、渡辺澄雄、秋山夫佐子、浅野道子、穴吹イソエ、飯谷麗子、石井佳子、井本英子、岩瀬美恵子、宇都宮初子、大沢一子、大林弘子、大森典子、大森徳子、岡田美

子、貝沼三栄子、川井栄子、黒川数子、佐立弘子、直原弘子、白井勝子、鈴木靖子、竹内久、田中千種、谷澤恵美子、辻信子、坪金諄子、富野節子、中障子不二子、中西恵美、中橋喜久子、西井戸惇子、八村節子、原田佳江、坂東富美子、平尾和子、平田祥子、福田尚子、福西静代、藤原洋子、古瀬サチ子、堀川康子、間島美智子、松井昌子、松井慶子、源淑子、箕輪圭子、森井晶子、山口幸子、山本尚子、吉本照子、渡邊富士子、尾崎富子、国土美美子、藤原美香、上枝基一、藤田一郎、川口雍子

糸瀬香代子、柴田敦子、木村允子、瀬尾豊子、宮田政夫、昭三二穴吹信汎、安倍文計、伊賀正和、石川晃、泉谷勝彦、稲垣英一、今岡重夫、植松弘夫、遠藤忠知、太田質、岡田勝、岡野一郎、梶河正孝、鎌野孝和、河西善三、木村宗祐、久米哲雄、合田武、後藤武俊、後藤正順、佐伯勉、四宮茂章、塩田喜彦、島田勝男、造田安民、武田七郎、谷川照、飛谷高照、富川光雄、豊田武則、中筋信二郎、中村利寿、仁後賢治、花崎良政、濱田清、藤井人志、藤岡一以、古瀬元、松本俊司、三野正博、三好守真、宮本宣博、宮脇淳光、牟禮治、村上征一、本岡和光、森健、森田健一、森山義政、安永英明、柳澤啓三、山田勲、山本義治、吉村屹、秋山充子、浅野廣子、足利昌子、芦澤幸子、池添眞砂子、石田周子、磯部京子、市原弥恵子、井上旦子、今松順子、上野美津子、植野郁子、鶴澤敬子、牛尾矩子、大里玲子、大塚順子、大西綾子、大淵圭子、岡坂孝子、小田原満知子、輕野弘子、川崎妙子、川谷幸子、木島京子、久保田玉枝、小石清美、河内郁子、小西靖子、小西裕子、塩梅若菜、塩田浩代、塩見宏子、新名洋子、杉本静江、鈴木織江、高橋朋子、竹口昌子、龍田玉子、田中伊都世、谷澤田鶴、玉井絢子、中村咲香、波多野光子、原田明子、藤田恭子、松島明子、松本邦子、三谷清子、村上由美子、森修子、森田幸子、山川早苗、山崎可壽子、湯沢啓子、齊藤美美子、畠山セキ、三好昇、昭三三青木哲也、浅田裕、芦原義介、綾野仁嗣、井上榮、井上順二、井宮秀明、池尻治、池田俊雄、石井全、今澤一恭、上野文夫、植松俊彦、植村登、小野俊祐、大西晃、大橋晶、大捕宣英、岡野俊樹、岡本政俊、沖野勝、神辺俊郎、川井彰三、川上智、川添勲、河北晏矩、久保勲、久保正範、国方康博、桑名芳昭、近藤正、柴野孜、角田守、瀬藤利生、田中保夫、田村大司、高島邦彦、高山信行、谷本正彦、谷本重樹、谷森勉、中尾勝、中川哲夫、長尾進午、西岡亨、長谷川義久、原田純、原田貴弘、平

昭三一井上靖彦、伊藤正敏、庵原光博、市原賢、植松武彦、芋坂邦彦、大熊敏彦、大崎凡二、大坪浩、大西孝一、大平治茂、岡昭生、岡野道生、織田昭、加治紀男、垣田亮治、角谷實、笠井省三、片岡浩一、神原博、川地勉、河合功、木村孟、喜多宏、倉田康男、小林圭一、香西幹夫、香西壯祐、佐竹正博、白井治、新名弘康、十河正光、田所紀雄、田辺幸範、高木美博、高橋毅、中條安雄、中島寅雄、中山信之、浪越昭光、西村和雄、八田一郎、濱田忠利、樋口正明、逸見正造、細田淳雄、前田治衛、松尾伸郊、松本宏、松本澄夫、三谷壽一、三野正幸、溝淵孝雄、宮武茂行、宮武敏夫、山田光彦、吉野正良、朝岡敏子、井竿喜久子、石濱和子、泉川繁代、井上和子、岩部克美、鶴川英、宇高弘子、大喜多公子、狩野七子、願化祐子、菊池洋子、北原由子、木下久美子、木村桂子、久保田雅子、久米伊久子、栗永和子、黒田道子、香西栖子、古賀英子、小島勝美、小林欣子、斎藤和子、佐々木敬子、佐野喜代子、篠原明子、柴野禎子、下山順子、須賀敦子、関知恵、田岡典子、高原尚子、田中智子、田中早苗、粒米美智子、鶴野晴美、寺内和子、中川和代、長町昭子、中村都、中村幾代、西川勢津子、西脇美重子、橋丘夫禰子、原節子、久松節子、平井茂子、藤澤敬子、前田留美子、松尾景子、眞鍋恭子、溝川淳子、宮本桂子、森恵美子、山崎洋子、吉岡幸子、吉川和子、吉野文子、

田喜一郎、平野敦夫、福岡登、藤川寛之、二川文一、古市征、本津一昭、真鍋光広、前川勲、前田道之、松田啓司、丸岡幹二、武藤満雄、森本肇、八十八川眞二、安田昌弘、山口興平、山下夏樹、山田勝、山田裕規、湯野寿也、吉岡崇、吉田陽彦、渡邊謙、渡辺勝典、天野勢津子、泉谷絢子、入谷美智子、白杵貢江、大岡絢子、太田英子、大林紀久子、大村晃子、大森恭子、岡野道子、芋坂よし、河崎幸子、北浜章子、佐藤弘子、相馬花子、十河靖子、高橋久代、千葉節子、鳥塚尚子、中井道子、長尾敬子、西原和子、西見輝子、長谷川勝子、藤本利子、藤本良志美、古川登代美、星山斐子、真鍋靖子、間宮淳子、三谷純子、八代紀子、片山由美子、佐野紀子、斎田仁美、伏石誠子、藪木公子、横関紀久子、笠井稔、橘英臣、玉木寿美子、中村淳子、吉田泰子

昭三四足立昭史、池田一昌、石原英輝、植木修一、芋坂和邦、大景勝好、大谷忠、大久保博、太田孝、織田幹春、香川浩三、梶野茂、川田泰生、河合洋祐、河瀬一紀、木原文太左右衛門、木村篤良、喜多俊雄、北泉敏史、國宗達旦、児玉英二郎、河野一郎、近藤敬司、佐伯武頼、佐藤薫、三枝基、品治重忠、渋谷宣隆、昌司雅弘、白井孝義、新名長文、杉喬、竹内章雄、土居英樹、中谷浩三、中村潤二、新居哲、西山要、野上健児、幡慎二、樋口順一、東川澄清、平井伸也、平木功、平田泰、福家俊男、福家俊幸、藤本公博、古市和博、細川治、堀家敏弘、本田則雄、真鍋武紀、真鍋和男、牧野豊、三崎屋義正、三栖祥児、三山雅敏、三好克彦、宮川栄之助、森正弘、森岡令和、八木正和、齋内捷文、山下紀夫、山本正雄、横井敏幸、横手憲治、吉岡照郎、萬谷健二、渡辺修、安藤知子、池桂、石田暁光、井上リエ子、井上富美子、井上たか子、上田和子、大西泰子、大野由美子、岡美知、岡本徳子、尾崎信子、加藤祥子、鎌野幸子、鴨田昭代、近藤清子、近藤直子、齊藤雅美、坂野士祭女、佐竹睦子、

佐藤洋子、塩本宏子、清水美智子、関根和子、十河智江子、田尾正子、高橋美也子、高橋紀代子、手塚裕子、土井弘子、豊田郁子、中村裕恵、名合智子、鍋田佳子、半田昭子、東川郁子、平澤弘美、かをるフィナティ、宮田雅子、宮本圭子、牟禮浩子、吉野紀代子、渡邊恵子、村上博

昭三五天野浩昭、綾野親徳、伊藤保憲、伊藤省吾、池田直樹、石田守正、石丸太閤、泉文隆、市岡隆秀、印藤孝彦、内海明士、小笠原武、小野利明、尾松伸正、大木幹夫、大坪和彦、大西大介、岡俊一、岡崎旦、岡田國義、笠井邦彦、片岡章、鎌田進一、鎌田毅、鎌田隆、鎌田英信、鴨井和寿、川口正之、川田寛、川西清、河合英幸、河田俊彦、河西寛、木下進、木下榮一郎、木村斉、木村勝紀、北谷英紀、国金庸夫、國宗孝雄、栗田昂、黒田泰弘、小嶋武伸、小原康夫、児玉皓次、児玉秀正、河野哲仁、佐藤彰男、斉藤寿良、柴田輝男、修理輝男、末澤功、末澤光夫、図子知久、世羅義昭、田中省三、田邊正彦、田山棟信、高木茂昌、高崎浩敏、高嶋克洋、高濱孝、高原徹、竹内博明、武田善行、谷沢一朗、谷本和義、玉越公智、伊達博、中條加寿男、中條邦宏、佃淳二、富永恭四郎、豊島雄一、豊島英俊、豊島徹、豊田資則、土井伸一、中野晴夫、中村昇、中村恒章、西吉利裕、秦英樹、浜谷文保、浜本俊一、広瀬道男、福家完治、福田隆了、藤井雅義、藤本孝一、藤崎省吾、藤本征機、藤本定斗支、藤本洋司、細川栄之、細溪喜一、堀川勇、堀田健治、本田道明、真鍋敏敏、真鍋禮男、増井武彦、松本修二、松本潔忠、三井勲、三宅壽一、三野宏、三村良弘、宮武正隆、宮武秀夫、向井輝彦、元久正美、森眞佐男、森田茂、森山亮、山下俊次、山田泰三、山本泰嘉、山本晴男、横田宗忠、横山章三、和田脩、渡辺剛、渡辺一雄、青木喜美子、伊賀静代、池田史子、石田木実、泉川道子、糸見

幸代、岩井和子、上原繁美、植松節子、大川玲子、大西信子、大類久美、岡三喜子、岡澤恵美子、岡田洋子、織田久美子、小原文子、加藤鏡子、加宮恵美子、神原純子、岸田豊江、木村学美、熊田文江、倉本久美子、酒井典子、笹岑紀美子、塩田栄子、渋谷和美、城山和代、末澤玲子、ストラッサ節子、田井朋子、高杉千瑞子、谷原昭子、谷本朋子、谷本美那子、谷森圭子、團野恵子、土屋美子、土屋道代、鶴尾公子、栃折慶子、富永千恵子、富村節子、友澤佳代、長尾綾野、中野紀子、中野文子、中村美千代、西本功子、野澤宏江、乃村光子、藤田絃美、星野登美、増田恵美子、松本孝子、溝川陽子、三宅あさか、三宅治美、宮武郁子、宮本仁美、柳坊文子、山下美佐子、山科桂子、横山邦子、吉野英子、池田修

昭三六安倅、井上浩二、池田正実、市原功、今雪雅夫、岩村清志、植松芳哲、江村美光、大川元臣、小夫淳示、岡興久、岡田啓一、奥田雄一郎、奥村勝彦、榎村修二、片山昌一、片山重正、鎌田基志、川根征雄、木下忠雄、木村康孝、木村和照、久保正篤、樽谷征男、桑島美、小嶋武士、小林孝良、五ノ坪和彦、後藤浩一、佐藤芳久、四宮靖三、神内好伸、杉山義武、高橋良忠、竹田昭雄、武田英徳、千切谷多一朗、津田健二、辻勇、堤啓、徳永孝明、豊田英紀、中村敬、西木憲明、細川修吾、真鍋尚義、眞鍋彰男、増田徹也、増田昌三、松下好博、松下文夫、松本英伸、三井賢二、村杉喬、谷内田一忠、山下昌紀、山地正彦、横井征夫、吉武泰俊、依光慶二、和波保、渡辺寛、朝日順子、芦原睦子、荒木統、荒木和子、池田洋子、植松登志子、宇賀美代子、太田根成子、太田幸子、大西時子、大原邦子、岡順子、岡奎子、岡田佳代子、越智美子、鹿児島鐵子、鎌田美枝子、木山昭栄、久保詔子、神崎征子、河野弘子、河野桂子、五ノ坪恵子、小林忠子、近藤悦子、近藤洋子、佐々木ウタ子、四宮美江子、陶聡子、多田博美、多田哲子、田中曉子、谷本志津、寺竹幸

子、飛田久子、飛谷節子、中村恵美子、中村照美、新居敬子、西川怜子、花岡清子、馬場圭子、原洋子、平田敬子、藤本良子、前田葉子、松沢尚子、松本保子、真鍋宣子、真鍋芳美、三澤順子、三好紀子、三好益美、村杉美子、森祥子、森凜子、山口豊子、山添悦子、湯藤美千代、與田康子、高木勝美、多田義博、前川美智子

昭三七秋山建樹、荒木正志、安藤正道、村上誠一、安部敏弘、伊賀淳、猪又清之、上野邦一、圓藤寿穂、小川和彦、小国昭、小沢規夫、大須賀誠、岡崎洋、岡田超生、香川暢也、笠井一、鎌田絃志、喜多克幸、北岡保之、久米修三、熊敏彦、倉山幸治、桑名信雄、小西正暉、小松義照、香西敏、後藤伸雄、齊藤司朗、齊藤尚則、塩津俊幸、杉内克己、田中俊清、田面秀樹、高尾義介、高松薫、高宮誠、竹下邦彦、立花広海、谷川宏、玉置正、鳥飼勉、中良夫、中野和彦、長尾榮治、長尾幸夫、長滝秀信、野崎敦夫、幡英一、幡多茂樹、林越則昭、広瀬健次、福島正信、藤澤峻、藤村祥一、古市健、古澤恵紹、塹江正志、増田生成、松島久朋、松本芳樹、宮北昭彦、宮武邦夫、宮脇和夫、森忠彦、森田安芳、山崎敏秋、山下保博、荒井信子、市原洋美、井上哲子、圓藤とよ子、岡本房子、芋坂泰子、小野泰子、織田公子、片岡勝子、北泉洋子、黒田節子、五井修子、近藤俊子、澤村田鶴子、神内美美子、神保昭子、鈴木郁子、千野昭代、辻勝子、豊島玲子、葉佐直子、福田照美、二川尚子、船曳桂子、細川昌美、松崎弘美、三原弘子、宮野明子、森勝子、森田順子、山崎瑞枝、吉田育代、和木典子、和田秀子、渡邊美智子、鹿嶋忠明

昭三八青木一夫、伊賀寛泰、伊藤剛、池田勝彦、石橋紀明、磯崎登志紀、今岡幹典、上田英敏、植田重則、植村忠彦、内海茂男、江崎邦夫、小川誠、小川美、小比賀俊一、太田光則、岡部敦弘、香川征、梶村正俊、川田邦夫、川西晃、楠勝正、佐々木典夫、佐野修三、重松麓、神内

邦隆、新藤勝利、須田勉、田井稔三、田川正武、高松洋、立山真浩、辻義人、東条寿男、富家勝、中沢晋、林雪夫、林寿夫、廣田一機、福家守、福家正博、藤沢晶、藤田雅敏、藤波正之、二川俊秀、星野正信、眞鍋慎吾、真弓哲二、松本秀三郎、丸岡操一、萬木久克、三宅五十六、三好尚武、水本尚、溝内享治、宮武正明、森仁、森茂昭、森田絃一、矢野智行、吉田莞爾、赤松治美、朝國太啓子、荒井瑞代、池西敬子、石原久子、一小路安美、岩倉信子、上北圭子、大西宏子、大西博子、大橋公子、岡田幸子、柿原紀美子、鎌田孝子、鎌田邦栄、吉瀬祥子、楠知子、栗島一葉、河野千代、後藤節子、佐々木富代、新藤禮子、鈴木美根子、薄田栄子、十河泰子、高井紀代、高木宣子、高田美穂子、高田トシ子、高田和子、高橋悦子、多田奉子、玉城哲子、竹馬輝子、中村一江、袴田邦子、原田まさ代、廣田正子、藤岡勢都子、堀部桂子、松高壽子、萬

木喜代美、水溪幹子、宮北幸、三山恵、宮脇美子、元木碎香、森久仁子、森川信子、横浜佳子、吉武信子、和田かず子、和田設子、渡辺トシ子、石川洋介、常谷忠克、前田勇

昭三九赤澤寛幸、明日正則、安藤武士、伊賀俊夫、池田駿介、岩部道孝、遠藤啓吾、小笠原善郎、小笠原邦夫、小倉良弘、小比賀俊彦、尾崎修敬、大西昭宏、岡健、岡田誠、片岡真二、川野淳、木村信行、糸井政信、小磯智恒、小西博行、笹川滋、塩田嘉明、鈴木義孝、瀬戸裕、高田等、武田一憲、中井徹、中井護、長町典夫、西本攻、原内紀夫、藤川吉洋、眞鍋順敬、眞部利応、増田恵弘、松村憲太郎、松本勉、松本勝行、宮北薫、山下祐一、山地正克、横田豊、吉原哲也、和田朗、渡辺義広、浅田鈴子、東時子、石井まり子、石川恭子、一宮由紀子、植村正子、遠藤顕子、河西和江、木村加寿子、香西祥子、小塚照美、小橋光子、齋江知、佐古昭代、重松純子、渋谷崇子、瀬川博子、造田佳津子、高橋弘子、竹之内貴美江、

田中和美、千切谷真澄、寺尾眞樹、内藤エリ、中西登紀子、蓮井愛子、蓮井加代、原田美由紀、平池秀子、福島貴美子、藤川幸子、松田美也子、松永紀子、松本英子、三野安意子、村井恵子、山崎恵子、吉岡郁子、米津照夫、常谷香代

昭四〇穴吹和士、穴吹貞文、井幡勇、石川眞澄、泉谷武信、今上茂樹、岩瀬雅宏、岩藤昌樹、小河孝則、大川直澄、大山恒夫、岡崎光伸、神野隆志、萱原徹男、川田一義、栗林伸碩、小西憲昭、後藤正徳、白杵孝典、田岡進一、多田文雄、高尾佳巳、詫間敬芳、立花治、谷本義隆、千葉昭、堤康、角田朝則、寺尾卓、遠山誠司、中上昌二郎、中山隆司、中山博、中山義孝、長野新一、西田耕治、西原浩、乃一裕、野口章男、八田光、濱田良昭、原知之、原雅弘、平尾耕三、福井義喜、福家哲夫、邊見敬三郎、外形勝、松田滋明、三原衛、水尾一信、湊唯義、村上茂次、村川浩一、茂中淳二、森沢正輝、森野郁夫、八十川紀夫、山神弘、山下照正、山田義雄、山本守、湯藤隆司、吉田穂束、脇鎌一、渡辺昌彦、赤松葉子、石毛悦子、伊原本久美子、岩部モト、大内洋子、小野スミ子、小比賀曙美、片山曉子、河田マリ子、北坂典子、香西真弓、近藤美春、近藤和子、品治純子、高見純子、田中信子、玉越美雪、土屋博子、徳永信子、中井敬子、中西かをる、中野美恵子、中村茉莉子、名和詔子、西村弓、野口節子、長谷川千紗、藤川行江、古市恵子、古市典子、前田みどり、松原珠実、松本百合子、森川和子、森本雅栄、森山敏子、山下美智子、渡邊節子、中条重福、坂東マサエ、松永義治、福島タケ子

昭四一阿佐正公、赤沢武基、明石豊重、上原敏、江郷知己、小笠原敬三、小川康正、大井祥朗、大瀨義幸、大藪修二、太田善雄、太田修、太田元、岡田憲政、荻田耕三、奥田哲哉、折坂義雄、織田孝正、樫原正也、金子正光、鎌野昌司、川崎雄二郎、川田清彌、久保稔、熊野實、小

田中和美、千切谷真澄、寺尾眞樹、内藤エリ、中西登紀子、蓮井愛子、蓮井加代、原田美由紀、平池秀子、福島貴美子、藤川幸子、松田美也子、松永紀子、松本英子、三野安意子、村井恵子、山崎恵子、吉岡郁子、米津照夫、常谷香代

橋克彦、合田吉徳、香西勲、香西幸夫、佐々木俊夫、佐藤修二、佐藤隆、澤井隆、杉上彰、砂川敏文、関根建一、泉保央、十河秀敏、田附尚、田中利彦、田村貞雄、多胡護、多田文大、多田則明、高田敏也、高橋博之、高山桂一、竹内憲夫、武井邦夫、武内滋、立野省一、天雲恭彦、東潤等、土居徹、灘波章、西川一夫、西川洋三、西村良治、野口吉秋、秦清治、広瀬政憲、広瀬譲治、藤澤淳、藤田道行、藤本彰二、二川和彦、別枝隆、堀井茂男、本津孝幸、真弓研介、松本太一、松本一路、萬谷嶺典、三浦卓二、三木均、三野二郎、溝淵利博、箕田俊介、宮崎哲雄、宮下慎一、宮本富夫、宮脇良秋、六車正章、村上克己、森茂樹、矢野恭治、山下邦明、山田智、山田潔、山地康夫、山本一郎、吉岡浩二、吉原和男、和田秀穂、穴吹久子、荒井るみ、井上由利子、岩田喜美枝、岩村わか子、上山温子、歌崎明子、大谷俊子、岡悦子、岡部由紀子、岡本敬子、小田レイ子、加藤英子、金尾光子、蒲田雅子、河口三枝子、河瀬知子、川南節子、喜田幸子、木原昌子、日下瑞子、久保田ミワ、窪田和子、桑島治子、河瀬八重子、小坂チエ、小西博子、坂口昭子、七條益代、志摩靖子、島村久美子、白取美由記、助川悦子、鈴木清子、関明美、孝岡弘子、高宮あゆみ、竹内富子、田中陽子、谷原朱美、田村真美子、弾正原寿美子、筒井順子、徳武弘子、登那木悦子、富田朱美、中原きよ子、中村陽子、中山艶子、東原憲子、広瀬幸子、福井励子、福家智美、藤野裕子、細井ふさ枝、松井美美、松之内和代、松本紀子、松山千恵子、真鍋登代子、三木知子、水落邦子、三橋朝子、牟禮明、森知子、安原ルミ子、山崎律子、山下民子、山西和子、横田ひとみ、木下俊子、森川輝男

昭四二阿部修二、赤木憲一、池田茂、池田文明、池田博行、稲田和則、猪子順、岩嶋修治、岩田好範、岩野正樹、靱修二、恵比須忠、苧坂達文、岡島勉、岡部英三、織田靜信、香川茂雄、勝田光男、川西進、川西啓一、河合公

三、河本彰、櫛橋純博、熊野清、糸井純一、小磯修二、小山新、古米俊雄、塩雅晴、田村司、高嶋博、高橋敏美、滝口秀則、武下卓央、武田義博、対馬健三、手島洋一、富岡学、中井敬一、中尾正喜、中村芳正、新谷充則、橋本幸久、濱野弘、原田俊、馬場康吏、平井健一、平尾準一、広瀬直樹、福島正行、福山恵一、藤澤和夫、藤澤哲夫、藤田万久、二川正志、前田道宣、前田直俊、横田實、松浦利行、松岡修平、松野芳則、松本隆茂、三木周一、三村和旦、宮武秀俊、森一真、山川明德、吉本健一、明石陽子、石川節子、石橋真知子、稲田順子、岩崎敬子、大坪美知子、小笠原倫子、岡田はる子、奥池早苗、香川マサ子、梶村恭子、鎌田町子、川西笑子、黒川秀子、佐竹和子、佐藤加代子、佐野八重子、十河喜代、高尾信子、田原清美、中土成子、中村邦江、橋田敏子、波柴幸子、平井陽子、平川峰子、藤花康子、堀上さえ子、前田恵子、前田糸子、増田佐由美、真鍋泰子、水本節子、皆川鈴子、村川知恵子、八尾房代、山内洋子、山形久美子、横手朱美、岡田久、柏原俊治、毛利成一

昭四三穴吹修二、安西英明、井川洋右、伊賀三千廣、伊藤擴充、飯間秀雄、入倉則夫、卯目和巧、上杉哲人、上谷一美、上野準一、牛川務、加藤精二、苧坂和仁、大西豪、大林和南、大眉明男、大眉秀人、太田道博、太田卓、岡孝憲、加島英二、加藤秀樹、香川優、鏡原満、樫昭二、川崎正規、川崎達夫、川畑省三、木村安男、木村俊一、鬼無律友、菊池保孝、北山忠善、桑田淨伸、小坂悦夫、小島健作、小西久典、香西信行、香西良建、斎田光則、七條政志、篠原道夫、十河泰司、田所照夫、多田和照、高木英一、詫間行芳、竹下和男、谷野克明、玉木明、筒井伸司、常谷薫、土居正博、高岡英治、中村有無、中村敏雄、中村谷年威、永井博行、成瀬豊久、二宮信治、蓮井茂幸、林計治、日野周資、福井芳啓、藤沢讓二、藤村勇、藤本隆幸、古澤幸夫、別枝修、星野次永、細川壽美、

真鍋健一、真鍋信行、前田巧、松島孝信、松本学、三谷千尋、溝淵博司、森秀樹、山上英司、山下敬、山下明、山田和伸、山本二平、湯山伸一、吉田良順、吉本泰三、池田篤子、井上葉子、植田里津、上野かよ子、植村ひろ子、大川久枝、岡部悦子、尾崎明子、加藤育子、門田賀子、川畑由起子、喜多悦子、北原信子、吉川富子、久保陽子、小西洋子、佐藤正子、大師堂清美、高橋久子、田中恵、中谷啓子、中西久美子、中野百合子、新谷富子、幡鎌恵子、原田洋子、平尾美子、平山隆子、藤澤万季代、藤田壽子、細川仁子、堀家みどり、舩形克江、三浦京子、宮地節與、森佐知子、山上明子、山本道子、頼富節子、渡辺純子、中村友子、能崎八重子、野網省平

昭四四穴吹一雄、伊賀宏文、今井恵一、入倉憲二、上原哲、植松恭平、内田渉、内原男、小野坂寿夫、小原文雄、大島邦雄、太田賀久、海面豊、樫原修、片山功、片山秀樹、亀山勝美、河合幹夫、木村清美、久能健一、小竹和夫、佐々木大、齊藤句延、柴坂敏郎、白川滋、田村正行、多田譲治、多田薫、多田進、高橋利治、高橋一誠、竹内司、立山潔、富浪義文、中尾裕、中尾好輝、中川保、長尾哲見、新田修、西田直樹、野崎達一、蓮井芳則、濱島研作、浜畑清一、坂東啓一郎、平尾幸夫、平田隆久、藤目清貴、町川道治、松本伸一、三原聖則、三好俊文、三好真琴、虫本光徳、安川勤、山本博、吉田渉、吉田茂、和田俊裕、渡辺正博、渡部莊三、秋本まり子、天野百合、池田育子、糸瀬敏恵、岩崎陽子、植木誠子、上杉エリ子、宇川明子、遠藤隆江、岡田和美、片山美穂、川田佐知子、熊丸幹子、栗峯潔子、見崎紀子、里見恵子、重松佐栄子、清水具代、清水昌子、神馬牧子、高橋千寿子、高橋温世、武市志津子、竹広章代、田中豊子、谷本美佐子、土岐和美、所貴久栄、中尾洋子、中西千恵子、中村由利子、中山真理子、野田ミドリ、林越洋子、広瀬真理子、福本敏子、藤本和子、溝淵香代子、三好久美子、向井万里子、

椋木千津子、村松礼子、森崎秀子、薮下真弓、山崎恵子、山崎京子、湯浅葉子、六車一夫、川西カズ子、橋本サヨ子

昭四五青木宏道、青木茂、伊藤輝一、池崎充、池田恒明、石垣佳邦、石田修一、植田和弘、植松由量、小田光茂、諏訪眞司、大熊一任、大西茂明、加藤寛、金藤悟、金森越哉、亀田進、川田文和、喜田恵治、北川康裕、久米田茂喜、國友美則、小西郁生、佐藤和史、坂井実、坂口道啓、笹島幹豊、塩田耕三、修理英幸、住友照明、泉保安夫、田中弘之、田村寛司、多田幸司、多田啓志、多田恵、高垣健治、中林秀世、天雲定義、天雲一裕、富田恭弘、土居直哉、中博史、中川茂樹、中津佳昭、西川和裕、西谷寛昭、三浦雄二、福西敏浩、古川健造、眞鍋和人、松尾謙二郎、松岡正己、松岡幹雄、向井幹雄、村山正俊、森岡眞治、森田哲夫、森田隆博、矢野年紀、安澤和彦、吉田恭典、渡里幸平、渡邊智樹、池田由子、石井陽子、石鍋典子、井上米輝子、岩見葉子、上田真知子、植村公美英、氏家悦子、榎原恵子、大澤昌子、太田洋子、太田和代子、大坪恵美子、岡内幸子、小笠原弘子、尾形多津、小佐野千重子、加藤朋子、川田由美子、菊間恵子、久米川和子、後藤裕子、小山美恵子、佐伯淳子、坂元順子、神内幾代、諏訪千秋、千田香代子、武下幸子、田村裕子、徳田靖子、中山基子、西岡千鶴、西川知子、野崎孝枝、原田育枝、藤原裕子、別所博子、松家由岐子、松垣富美子、真鍋曉代、水口晶子、森田知恵美、八十川芳子、米沢基子、渡邊寿磨子、村上美智子

昭四六秋友直文、飯間龍彦、一小路泰夫、植松道治、大谷義美、河本知二、木村修久、久保田啓一、桑崎正春、児玉啓樹、佐藤法暢、圖子泰、瀬尾直陽、田中康博、富田直樹、土岐彰、中島久男、中島英男、仁木壯、長谷川浩一、日詰裕雄、藤澤孝男、福家雅彦、細松英正、間嶋弘、松井美紀夫、丸谷幸彦、三谷哲夫、村上幸生、山本

眞也、脇谷勇夫、池見郁子、岩澤和子、大村章子、川上規子、川原昌美、神田仁美、鬼無敬子、楠原裕美、酒井美智代、佐々和子、篠田美津子、四宮香代、高木裕子、高橋京子、高橋彰子、塚原布海子、辻川弘子、東淵洋子、原口君代、平野佐代子、藤原郊美、藤本京子、眞崎牧子、山内真弓、秋山寿行、岩澤和夫、榎本充邦、大西賢二、四宮洋次、松岡省三、安田元、山下和彦、横井若子

昭四七淡河洋一、井上浩一、井口義也、一色泰美、一村公典、上枝正人、漆原義典、大角芳史、岡範全、岡幸弘、岡英憲、岡弘文、岡内利文、岡本吉民、梶野雅義、神田成栄、河本恭之、久米川啓、久保正典、久保隆彦、黒沢基彦、合地研吾、佐藤茂、佐藤哲男、嶋靖記、嶋村昭、正箱孝史、竹内俊彦、立岡英宏、壺井俊博、鶴身哲士、天雲俊夫、中澤亨、中西範幸、西山徹、野口隆、羽柴敬二、藤川宏樹、藤本泰雄、本田章二、間島賢治、松山哲也、三浦誠、三日月善夫、溝口重治、光宗皇彦、宮武茂典、十河邦義、山本貢、横井賢治、横倉浩三、和田勝、渡辺佳之、渡辺忠俊、淡河美智子、池田恵子、猪崎弥生、稲毛和子、上枝百合子、上原昭子、上春育子、内海順子、太田康子、大橋ひとみ、小野坂律子、片山美代子、加藤恵子、岸上孝美、木村ますみ、小坂真智子、駒木典子、笹倉啓子、神保敦子、鈴木史江、高田純子、多田美佐子、田中由美子、谷野純子、出口清子、寺師明美、南野三津子、西村康子、西山文子、西山弘子、野崎恵子、原久美子、原田由美子、福家智子、藤本玲子、本家陽子、松岡久美子、松岡知子、三谷啓子、三宅実奈子、森光子、飯島裕幸、阪本一樹、嶋靖博、福井宏和、三崎隆志、三野容志郎、小竹純子、安田加代子

昭四八芥田敬三、井口進午、伊藤寿、稲垣浩、稲田幸三、上原邦昭、上村和夫、岡輝人、岡内清弘、加藤英輔、亀井收、川北智司、川下譲二、帰来雅基、黒川知文、小西二郎、香西一憲、齊藤久克、酒井穰、里見昌信、清水信

彦、十河政史、田中勝英、田中眞治、多胡一美、多田泰三、谷澤昭彦、寺嶋吉保、土居譲治、西山正寛、沼本篤男、納田安章、林義隆、久本吉亮、平見茂延、福嶋哲弘、藤井敏孝、藤田和志、古市哲也、堀祥二、松本浩史、美馬祐一、宮本吉朗、宮本幸治、宮脇誠、森弘浩司、八十川慶三、山地芳和、横内優徳、横山佳史、米田篤人、阿部知代、石田純子、泉尚好、大野千晶、織田幹子、川窪洋子、神崎文子、菊地澄子、久保典子、倉敷ツヤ子、小石泰子、香西良子、詫間美千代、竹林由美子、仲西さち子、中山緑、西山幸代、藤井恵子、藤枝好、藤田光代、藤原祐子、松田よし子、丸谷照代、水杉好子、柳田りょう子、山下友子、横山美登里、川原一芳、十河憲夫、富永信彦、永井崇雄、畠山茂毅、真井邦晃、宮本丞祐、藤本美智子

昭四九東雅之、安部明夫、伊賀和之、池田和真、石田謙作、糸井俊樹、上野孝彰、臼井俊文、内田徹、小川哲郎、大饗由之、大藪俊司、岡扶樹、岡内伸介、加藤昭彦、木村守、多田幸雄、谷本一成、土居薫、土居邦壽、中島延淑、長尾忠司、野村充伸、平田芳廣、本川一善、松延秀一、三好和幸、守谷健弘、安藤千代、石田京子、梅澤洋子、大西恒恵子、金子桂子、久保睦子、佐藤佳代子、宿利玲子、鈴江ひとみ、高桑名保美、高山もと、田島朋子、天雲悦代、中島玲子、西川玲子、邊見千香、三好久美子、森美貴子、若月恵子、佐藤剛平、武田恭明、中条良則

昭五〇朝原周一、穴吹善範、井上康、池田育嗣、泉谷正紀、今竹泰典、岡崎功、岡山栄作、奥村康夫、垣見知英、川田行雄、河辺亮、小嶋唯司、佐藤暢、柴田節、修理伸一、鈴木聡、隅田啓、田中久富、辻上寛実、徳広信也、豊澤佳弘、名尾和広、那須安宏、長井啓介、萩本豊、萩森康史、蓮井宏樹、原田竜、日吉孝夫、平井一也、藤田次郎、淵崎正弘、真鍋正明、松田圭司、松本俊一、三好智次、見市昇、港義弘、元山賢治、山村雅彦、山本徳洋、

池田朋子、井上弘美、今滝知子、今別府恵子、大内典子、大角京子、大西葉子、河口英美、神邊節子、岸本直子、木下満代、桑田敬子、河野美智子、近藤延子、佐藤孝子、土居葉子、内藤眞弓、永留三恵子、萩本佳美、橋本香代子、平井順子、平川くみ枝、逸見美千代、南楚希代子、和田孝子、和田邦子、川野豊、板東靖人、川田好利子、中条博子

昭五一秋元一成、荒井律、池本益規、石川誠一郎、岡田和夫、加藤宏道、川原史、菊池和也、串田佳広、楠瀬昌作、桑嶋正寛、佐藤涼介、坂田貴之、櫻又浩、杉村正則、田中佳利、高崎眞治、滝川稔、武内一、谷川修一、富井稔、富田弘明、中村正則、新田守、西崎司郎、西原勝、福田陽一、細谷芳久、三木卓、三野植男、溝渕洋民、宮崎真二、宮地岳彦、八木盛幹、山田徹、山本博司、横井浩司、横井公一、利藤房男、石本あかね、伊藤知子、大西ゆかり、岡悦子、川野桃子、木内文子、糸和子、後藤緑、高橋洋子、桢中玲子、野村裕子、原田典子、平尾直子、平野郁子、福家みどり、福江昌子、宮川真澄、宮崎恵子、山口朝美、岡見吉規、松田和也

昭五二天野盛資、井上耕一、伊藤尚、石川高英、市木研、植松健、植松周三、小河恵朗、大塚康正、岡秀樹、岡史朗、岡上拓己、笠井英樹、神崎俊、岸本伸人、佐瀬龍次郎、坂井修一、塩田昭弘、新名孝司、砂山敬之、高橋伸治、辻恵和、筒井伸幸、永峰伸一、西山淳一、蓮井義則、濱川喜亘、藤澤一郎、眞鍋裕司、米谷隆雄、三木武司、三谷泰司、溝内正康、山田光一、山本尚和、横山一郎、吉田悟、和田晃尚、綾田智子、岩井孝子、馬木明美、大島由加子、大林博子、大森明子、合地仁美、佐藤麻由美、千野みゆき、泉保香澄、高木佳美、高橋由美、多胡光代、多田貴美子、辻上敬子、筒井康子、富田久美子、長居芳子、林充代、平松彰見、藤原雄司、北條ひとみ、松田欣未子、宮武礼子、森康代、北原英幹、木村吉宏、五嶋孝

博、佐竹一郎、多田羅衛一、山本修平、丸吉洋子、頼富美恵子

昭五三相谷雅一、青木英晃、池田政宣、小川聡、岡本尚佳、葛西慎二、川田明志、河合哲夫、木村彰伸、北山明彦、日下卓則、佐々木一乗、佐藤良二、住山喜昭、十河裕之、田岡英明、高島寛之、高橋英二、徳田桂一、豊嶋春暢、中井達郎、灘波博司、広瀬友彦、藤原茂伸、藤本邦人、麓泰紀、増田俊也、松岡貴之、松野和彦、森明史、山口弘信、横手誠、横山徹、石原玲子、泉川かほる、白井由美、梅津裕美、川崎直子、木村庸子、木村美奈子、新川伸子、鈴木佳代子、十河千穂、高野敦子、竹内啓子、土居孝代、馬場正子、藤本幹子、松下節子、松原幸子、吉川正美、吉村佐喜子、池田義、関元直登、片桐恭子

昭五四阿波谷孝俊、浅蔭典男、安部忠明、石井浩之、石谷誠、大出茂晴、大西宏明、岡崎仁一、押野雅史、日下哲也、熊澤毅彦、組橋和浩、佐々木浩之、佐々木悟、佐藤哲也、新川修司、須田邦男、杉村隆、助吉建彦、砂山豊宏、関谷利裕、高橋雅直、高橋道也、垂水浩幸、徳田芳浩、中西良典、長尾正樹、平尾宏、豊後雅巳、藤澤明彦、堀内政信、眞鍋英男、植野浩司、横井健治、吉川玄逸、渡辺稔、青柳佳枝、穴吹久仁、安部純子、安藤裕子、石川千晶、石船信子、今井万里子、植松紀子、梅澤とし子、亀井智子、齋藤眞喜子、島津昌代、庄村敦子、新開里津子、多賀朱美、高崎智子、高橋佐知子、多田栄三江、鐵理代、豊澤徳子、藤澤佳子、藤澤伸子、細井恵美子、堀内尚子、の場陽子、三日月加奈、水澤聖子、宮本浩美、香川佳之

昭五五井上敬之、池田康彦、石濱英暢、永正千里、川田健、楠瀬丈生、香西新五、柴田周、杉ノ内謙三、太山尊弘、田村正之、出口一志、中西徳彦、長町顕弘、西岡孝、能祖一裕、秦敏博、廣瀬昌也、福家徹朗、細川典宏、松木聡司、森本卓治、山崎直樹、山田大介、安宅比呂美、

神崎佳奈子、桑島洋子、小柳和代、砂山博子、高崎恭子、中尾都、永由美保子、野間玲子、橋本三起子、藤本悦子、堀重美、松岡利佳、松原敬子、真鍋千恵、萬好都美恵、横手悦子、吉田時子、吉田史枝、渡辺淳子

昭五六秋山賢次、池内久徳、石岡邦章、石丸伊知郎、内田雅仁、大原一浩、太田理、太田孝彰、亀井英俊、黒川実、小西英登、小早川龍司、清水善明、田中裕、中田啓之、中谷誠治、長崎百伸、西村仁則、蓮井靖信、平田佳宏、藤田祐、細谷多慶、三船司郎、森英俊、八十川大輔、吉鷹秀範、渡邊浩一郎、石井栄子、出射恵美子、伊藤環、猪熊美代子、植松浩美、岡谷史子、櫻又直美、佐藤今日子、高橋夕香里、田辺育子、平野希代子、細井智代、水本恵美子、渡邊智子、山下敏子

昭五七井手上典弘、井本康裕、石濱琢央、上枝宏和、岡内眞一郎、門脇植人、河津正人、喜田智幸、河野哲哉、新川洋司、中村昭浩、南里正治、羽野精一、治多伸介、馬場博史、本田博之、松尾利彦、松本寿、松本泰則、六車直樹、吉井敏浩、吉本真朗、石濱美子、伊藤裕美、佐藤いずみ、佐藤みどり、武田悦子、出口理恵、長光由香、西村直子、原二三子、松尾志麻、溝内ゆかり、山崎裕子、山田規敬子、英亘

昭五八荒木重雄、宇佐美浩一、加藤宏一郎、川井裕基、川田剛、河西邦浩、十河昭宏、田井茂、多田俊昭、乃村公二、藤井一郎、三沢篤志、三野靖、溝内哲也、森下聖史、八木裕史、山本幸則、吉岡義人、吉田浩史、森真理、佐藤久美子、佐藤扶美子、菅真美、鈴木朋子、谷崎琴、樽谷美香、三谷匡代、守谷牧子、山本雅子、八十岡清美、宮本光

昭五九阿倍博信、池田誠、植松繁、木下勝、河野恵伸、菰渕啓二、佐々木威、坂戸二郎、白石哲也、住谷朋人、田所誠次郎、真柴賛、真鍋健史、前田八州彦、村山彰二、吉野聡宏、相谷千賀子、池田知子、井上純子、兼森三恵、

北堀礼子、桑島由貴、幸田千晴、坂戸朋子、塩田直子、高橋祥子、平尾幹子、本田日登美、山本明美、横田由香、大島和之

昭六〇石河利広、石田英城、尾崎努、大西研至、大林弘明、加藤琢二、下地崇弘、多田義孝、滝口信、中田智博、西穀、西尾徹、平澤元浩、山田晶一、吉田年秀、吉田稔、大倉恵美、梶尾裕子、川上由佳、北内道代、才市史香、蓮井博子、細川典子、増井都乃、松本尋、森総子、昭六一伊賀史朗、岩部明弘、片山統裕、上原靖弘、木村勇夫、久保誉一、河野敏明、多田康臣、土居良助、萩池昌信、林秀樹、平山勝敏、本多完次、本多英雄、松本弘司、村尾仁、八木田佳樹、和田康夫、石川りか、大西晴子、大野郁子、岡田真理子、片山美雪、河合友子、河北理加、川人ひとみ、艸葉典子、小見山淳子、酒井佳代、笹井文仁代、柴田由美、田村智子、永坂久子、濱野奈美枝、板東真由美、前田圭見、増井佳子、向井恵

昭六二荒木隆、安部洋朗、伊藤雅久、石田茂登、石原裕三、小倉伊知郎、岡部祐介、川西穀、河野仁治、多田孝一郎、多田寿徳、竹川忠克、辻正彦、中西健、西口敦、原茂樹、別宮貴仁、増井健人、三木一伸、山口太郎、和田新治、渡邊浩司、荒木みどり、大西朋子、川田安都子、川西紀子、葛原由起、桑島利江子、小林知恵、佐藤玉枝、土居晶子、中城久美、萩池淳子、平田智恵、藤千恵、松本智美、松本亜紀、山本佳世子

昭六三阿部博、池田数一、入谷誠、植村崇晴、梅岡達生、大西一央、近藤健二、五ノ坪大輔、田井穰二、宝田繁基、玉木雄一郎、佃英樹、中川学、西岡幸治、久枝了、林和英、別宮欣暢、増田晋一、松原寛、宮脇昇、村川哲也、八代田英樹、飯尾美保、石原美保、岩崎和子、小栗直子、乙川みち子、川端桂子、木下晶、葛原真由美、竹川由美子、蓮井美奈子、羽田野麻理、三崎恵奈、三村章子、宮脇幸子、山田明日香、山本聡恵、山本岐香

平 元 安部慶吾、折目貴司、笠井幸博、小岩利昭、佐々木雅張、高尾中、富田篤、濱崎直哉、中西充、灘波弘樹、三山弘之、森本剛、和田啓生、伊沢栄子、石丸真弓、井上雅子、井町仁美、入谷知世、岡本、ミヅノ有花、笠井陽子、片岡和美、鈴木順子、鳥養智子、中尾弘子、中野貴子、中村雅子、早川知子、真鍋末希、レイヤー陽子

平 二 綾田和晶、入谷浩之、小川淳也、尾崎敬介、加地英輔、桐林孝明、十河利樹、千切谷耕一郎、中村治、中村聡明、中山博之、葉佐宣、藤澤雅人、増井貴人、山本史郎、湯浅泰三、石原加奈子、宇佐美京子、小川明子、落合由香、小比賀裕理、楠本衣代、渡邊淑子

平 三 市原英行、上枝正幸、上原直人、小川敦史、香川英俊、片山哲也、河田悦夫、木村彰宏、菊島将臣、久米毅、佐藤淳一、佐藤公一、田中育太、田中誠也、田中茂登、武田博彦、筒井雅彦、常谷典生、中北勝、福家良和、増田浩城、宮脇修三、村川祐介、森貞志、安原正浩、山下雅洋、穴吹直子、伊藤香、入門美穂、石近有花、大前智重子、岡本佐織、小川孝子、神原知子、武田裕子、中條智絵、豊島彩、松村日登美、森布季

平 四 秋山博昭、東昌志、鎌田浩志、北泉秀樹、齋藤弘樹、澤田兼一郎、図子浩基、小比賀賢、名塚太二、藤田晋、二神雅史、間島徹、松井久知、本澤永人、山形幸徳、安倍利恵、伊藤祐子、岩部美紀、大浦佳織、大森安代、木村文、香西育代、小嶋桂、田嶋京子、中野志保、幡鉦千景、山地貴子、山添佳恵、山田和代、和波由紀子

平 五 大川真史、大西吉之、北泉顕二、高尾真司、坪井誠、中井裕史、松原謙二、村松大輔、森周一、森大樹、森川正英、吉川明人、上田香代、植村知代子、鎌田多紀、栗本有香子、社本真紀、長尾早苗、西村雅子、藤川愛、矢田千枝、山下晶子、横田裕子、川東孝俊、喜多時乃平 六 安倍吉郎、岡誠、川西章弘、小西賢亮、末澤宏哉、中井宏二、中山敬之、長谷川高誠、東島潤、松本澄洋、

宮脇仁志、山上佳樹、山口潤、山下正幸、山下晃弘、脇屋岳史、飯間聡子、岩澤幾子、印藤加奈子、岡知美、西稚子、西原千代、松浦麻矢、溝渕直美、溝渕純子、森岡美智、間嶋都世

平 七 真鍋康正、臼杵理人、大谷祐生、梶村知宏、鎌田正幸、重成憲爾、高木大輔、高橋利英、武下博紀、田中宏樹、藤井泰宏、藤本圭司、古市貴暢、松岡俊郎、溝内健太郎、溝渕和則、三宅基隆、吉本晴樹、石丸依美、植松佳子、岡田里辺香、海部久美子、香川めい、重成有美子、柴田啓子、杉上景子、富田あかね、藤田妃佐子、松前佐弥香、松本由佳、三村真代、渡邊智子、市原武

平 八 朝倉理映、池田秀樹、井関龍太、鶴澤亮、大橋邦啓、小川竜司、片桐匡弥、川田洋憲、近藤巨匡、篠田陽子、神内圭吾、高田佑基、竹廣敏史、土居智和、徳山宏美、中井隆文、中山信博、中山裕介、原田智子、逸見亮平、細谷美佳、松村佐知子、松本直樹、真鍋敢、八十川明子、山路早苗、山下一太、尾崎元彦、香西悦子、十河誠、細谷桂子

平 九 伊藤寛子、越後明佳、太田裕人、大森裕子、小川雄一郎、川東芳文、久保田貴文、迫田達也、下地正恵、神内聡、田中里佳、中山典子、長谷部文子、濱田康宏、宮本拓嗣、矢野智宣、渡辺朋広

平一〇 安藤真之、石田恭子、大井健史、大橋朋貢、岡井有美、金子正、久米一水、厚井久弥、河野裕介、小藤智史、小山賢太郎、篠原綾、神内俊輔、高橋聡、橘久美子、戸阪匡博、豊富文、中井暢子、中西明子、畠山知也、濱川昌延、東谷亜衣、堀川昌宏、真鍋量、向井大輔、森光代、山口晶子、塩田浩子

平一一 植村亜以、内海尚紀、大美智敬、小笠原恵、岡田知美、片山進亮、鎌田雅子、久保太郎、厚井志郎、中井岳夫、長町篤、西川和良、西山忠克、細川直子、三好泰之、森岡真梨

平一二池上勝哉、石川陽菜、糸瀬ふみ、井上雅世、大澤健二郎、太田貴也、加島佳奈、河合悠紀、川口泰代、久保裕亮、榎藤宏美、佐藤碧、田尾誠、谷岡弘邦、常谷紗己、中川さや子、乃口哲朗、長谷川博紀、藤田崇之、松本文武、真鍋佳亮、森田浩之、八木俊則、八十川豊、横田寛、渡辺邦広、武田芳美

平一三浅田翔、石原ゆかり、稲毛慶太、岩部正明、印藤直彦、岸下定弘、久米井伸介、小山花南江、児山浩崇、笹島幹広、大黒翔太、永井美智子、永尾誠、日詰まいこ、福田香代子、藤本篤志、真鍋周平、三木雅登、向井健二郎、室園恭規、八尾祉顕、吉成信人、淀谷光子、秋山宗徳、上田昇、中谷里美、山崎五月

平一四池内陽一朗、池上義明、伊藤謹民、漆原慎司、江崎秀人、大熊裕貴、大西舞子、岡田卓巳、河合亮、菅泰輝、榎藤智之、佐藤靖子、神野敬祐、高橋彩子、高濱隆幸、立野新治、谷口誠、千葉一孝、中山且、蓮井誠、畠山義家、平見光太良、藤澤純平、藤村篤史、細川和久、松岡ふみ、真鍋享平、宮本詩子、三好量平、森正憲、渡辺昌広、有原増美

平一五明石瑛美子、朝日俊雅、石本寛嗣、稲田龍太郎、木村慧、厚井依子、小山諒、佐伯太朗、四宮裕介、多田彩乃、田村勇典、富田諒太郎、長井綾子、原田芳宏、平尾絵美、前田峻太郎、松浦毅士、松岡さとみ、松家絵美、森田康之、横谷慶子、吉岡陽子

平一六赤澤和之、赤股賢二郎、石田有美、岩本康平、上春光司、木村友香、木村公信、塩谷奈央子、四宮聡子、高市伸宏、高塚明、高橋航大、谷和希子、辻直輝、中辻さ早希子、永松広大、藤田洋志、松岡正之、山ノ井基広、津川沙織、坂東真、

平一七天下俊樹、芋坂佳、桂嘉宏、角友佑豪、木村圭一、銀吉屋麻実、柴田郁、土岐圭伊子、中津光博、長谷川博之、福本雅彦、堀川知紀、前田敦志、松尾祐太、松岡加

奈子、宮本崇平、村尾圭介、吉田雄、若林徹、池内一治
平一八伊賀万希子、入谷優、上春美奈、川口桂代、川田明伸、川田恵美、楠瀬達也、久保友次郎、久保圭一、久保満晃、栗原武士、小林俊博、佐々木晶子、笹島正豊、新川宏美、造田貴宏、高塚光太郎、田窪朋広、多田敦雄、田中均樹、富田洋輔、中川佳洋、中山武士、中山由美、西山由理花、檜垣賢多郎、細川裕也、前田詠理、松田祐佳、三日月佑梨、溝瀨泰隆、宮崎沙月、元山美希、山田佳奈

平一九秋山亜由美、安部友昭、井阪雅仁、泉川大樹、井上宏亮、植松慎一郎、織田大地、絹笠沙耶香、楠原英生、黒岡直子、高橋美都、竹広裕子、多田大通、中条匡臣、土居輝、土岐芳寛、永峰優一、西原恵里奈、蓮井あゆみ、原田康平、平野加奈子、藤真理子、藤澤範子、藤澤友輝、藤本達也、藤本啓介、前田雅美、植塚英治、丸谷由紀子、溝瀨智美、森弘拓人、山内彬子、渡邊大祐

平二〇朝倉健太、今中弘美、大川悠介、岡田大輝、芋坂枝織、尾崎友合子、川原一晃、香西真道、小早川達彦、齊藤真、佐藤万里奈、関元由紀、造田莉沙、造田知宏、田川良和、田中里沙、谷美里、中尾裕之、中村智子、中村美織、西牧正博、平野裕太郎、藤沢陽大、丸尾菜奈、横井奈央、吉田勇人、吉田麻衣子、和田学政

平二一青木咲貴、青木仁美、安岐智晴、池西大起、植松建太、片山早紀、門田浩史、岸本亜里紗、木村千恵、久詰修平、久米川恵、佐々木博邦、田岡伸崇、多田晋、多田彩乃、中川裕貴、中村清太郎、林貴洋、原田容輔、真島大輔、真鍋美里、三原健太郎、宮本瑤子、元山佳奈、横井麻里、横田康平、好川ちひろ、山下泰啓

平二二青木建樹、石丸晶子、小野兼一、鎌倉瑞基、亀井千晶、川口祐貴子、木村智美、久保田裕輝、小早川博美、小林大城、佐伯武昭、櫻又由伽子、塩入愛美、品川遼太、末澤志乃、杉山貴美、造田かおる、十河拓巳、高橋和花、

滝川睦美、谷勇輝、西岡慎太郎、西崎勝哉、八村良祐、平野裕隆、平野旺周、廣瀬友基、藤澤智子、藤本卓也、増島祥、増田史乃、南堀友里、宮崎翔平、村田圭、森光太朗、山田佳明、横井美里、吉原佳、和田沙江子、池添治

平二三穴吹美緒、石川航平、伊藤健悟、今瀧梨乃、岩部雄介、宇川由佳梨、大出小夜子、大原壮一、大森真理、岡内啓悟、岡田直之、尾端樹、甲康平、北山真夕子、木村旬、日下智陽、楠瀬智己、窪田かすみ、香西健太郎、佐藤伊純、七條友香、新丸研登、高橋寛、多田有輝子、中村芽子、西岡佐和子、乃村勇輝、萩本政大、長谷川力、藤田崇寛、堀川恭佑、松岡美玖、港孔太、三野健太郎、森裕司、森下量平、山野上舞、山本華以、吉田沙織、渡邊二朗

平二四浅藤鞠枝、浅田祐実、伊賀健人、石川睦未、石丸桜子、石丸千晶、井上真梨子、岩間弓奈、上枝舜治、岡奈々恵、河田祐太朗、川人一真、北原史紗、久保田真士、小林里佳、小林裕弥、佐伯美奈美、佐伯浩行、佐藤夏実、佐藤うらら、佐藤宏樹、塩井祥子、末澤佑樹、関佑華、造田啓介、十河香奈恵、高橋明音、武上実佑、出口千尋、西原寛人、原田真実、坂東秀人、福家佑輔、藤村佳絵、藤本みち、細谷泰祐、堀光毅、松岡良憲、松木馨、溝瀨智大、三谷友紀、三原千明、宮川祐熙、柳澤宏明、山下和貴、好川歩、吉田満利恵、和田彩花

平二五青木耀大、穴吹隆人、石濱佐和子、植田愛育、臼井采依加、岡田あずさ、岡田裕希、鎌野まどか、川井彬史、川人夏実、河本和憲、木本拓海、桑城亜裕子、小出英南子、近藤宏香、笹田祐介、七條智紀、品川真穂、白川雅章、砂川滉、高橋結衣、橋菜里奈、玉木彰、畠山ともみ、平野晴、平野利江子、廣瀬元基、富士見優貴子、増田聡乃、松岡萌恵、松本敦、真鍋聡康、森大輝、森田夏帆、森本裕美子、保田祐輝、山野上実希、山本有貴、

横井美実

平二六池田修斗、石丸弘之、宇佐見天慧、内田明絵、鞠慶太、岡祐一朗、岡田さおり、小倉祐也、川田拓弥、喜田壮士郎、北山由紀乃、佐伯光亮、佐藤希帆、塩梅直子、四之宮彰吾、嶋泰寿、下地健太、神野さやか、末澤優、田井裕樹、出水佑二郎、徳武直、馬場敦也、坂東拓人、藤田かは、藤村大智、細川可南子、増井佑利、松本咲、三日月咲紀、三原大典、美馬章宏、三宅遥、山本周典

平二七穴吹彩、池田彬人、稲葉至人、井上英里子、植村洋亮、大川慎太郎、大谷勇樹、大出洗起、笠井康太郎、川口湧也、後藤颯汰、佐藤聡太、品川香穂、杉村真子、谷和樹、富田礼央奈、中原花奈、新田紘己、野村実里、原田智行、板東里佳、坂東あやか、藤田真由、松木星、南堀仁志、峯高祐希、三野稜太、三宅和岳、森優美香、森宙久、山本麻由、吉田真優、吉野千秋、藤澤良太

平二八池田裕和、石井沙世、石濱加彌子、石丸友里、上枝史奈、植松希望、太巻侑香、内田悠太郎、靱真澄、遠藤尚諒、大谷明絵、大西智、大西星奈、大道鏡花、岡崎律道、奥田佳名子、奥田喬一、尾端輔、織田みか、香川馨太郎、勝部柚香、鎌田宙、亀山桃子、川瀬季広、久保一毅、隈川顕、河野詢平、坂本亮、佐藤鈴華、末澤明、杉原あかり、関菜都美、田井篤志、彈正原昌也、土田杏奈、中西凌河、新岡沙利、仁木友也、西原千尋、林風花、原直子、梁木太地、久一空、福井雅也、藤澤実彩、藤原拓末、細川千夏、間島永利、増田泰典、松岡秀悟、松田悠暉、三崎世為子、溝口弘也、三井敦弘、三村健人、宮崎礎、三好沙貴子、森翼、森井嘉穂、森本健太、山崎満里加、山中章弘、山中陵弘、山本尚典、横山大智、頼富賢斗、渡邊蘭、楠本佳威、岡本美貴、真鍋広子、村上光輝

玉翠会会費の納入方法について

1. メール会員の皆様 (会報を「ホームページよりダウンロード」をご選択の会員の方)

メール会員の皆様 (会報を「ホームページよりダウンロード」をご選択の会員の方) へは、会費振込用紙を発送いたしませんので、恐れ入りますが下記のいずれかをお願いいたします。詳しくはホームページにも掲載しています。(「ホームページイメージ」参照)

振 込 方 法

① 郵便局でお振込

- 郵便局の払込取扱票に、お名前、ご住所、卒年(または会員番号)を必ずご記入し、お振込ください。その際お振込金額には、振込手数料を差し引いた金額をご記入ください。
(振込手数料は玉翠会が負担します)
- 会員番号は会報発行時に送信するメール内にてお知らせしています。

口座番号 名 義：香川県立高松高等学校玉翠会
ゆうちょ銀行 01630-0-31115

② クレジットカード決済 (PayPal) でお振込

- 玉翠会ホームページの「年会費納入のお願い」画面より、「玉翠会ネットワーク」へご登録後お支払い下さい。(手数料は玉翠会が負担します)

③ その他

ゆうちょダイレクトの電信振替でゆうちょ銀行口座へ送金、また他の金融機関からも下記の口座へお振込が行えます。手数料は各自ご負担願います。

入金の際は、必ず 6 桁の会員番号を振込人氏名の前に打電してください。

会員番号は会報発行時に送信するメール内にてお知らせしています。

※ 納入者を特定出来ない場合は「納入者不明」として入金させていただきます。

例) 123456 タカマツタロウ

口座番号 名 義：香川県立高松高等学校玉翠会
ゆうちょ銀行 01630-0-31115
百十四銀行 本店 普通口座 0078326

ホームページイメージ

お振込方法には主に次の3つがあります

郵便局にてお振込の方

口座番号などが印字されている振込用紙をお持ちの方

「玉翠会報」に同封の払込取扱票をお持ちの方は、お振込金額をご記入の上お振込下さい。払込手数料が無料になります。

振込用紙をお持ちでない方

払込取扱票の通信欄・依頼人欄に、お名前・ご住所・卒年(または会員番号)を必ずご記入し、下記口座番号にお振込下さい。
その際、お振込金額には手数料を差し引いた金額をご記入ください。
(手数料は玉翠会が負担いたします。)

口座番号: 名義: 香川県立高松高等学校玉翠会
ゆうちょ銀行 01630-0-31115
百十四銀行 本店 普通口座 0078326

コンビニでお振込の方

「玉翠会報」に同封の払込取扱票にてお振込下さい。振込額は変更できません。

クレジットカード決済 (PayPal) にてお支払の方

「玉翠会ネットワーク」にログインしお支払い下さい。手数料は玉翠会が負担いたします。

2. 会報郵送の会員の皆様

平成29年度より、コンビニでも玉翠会費の振込が可能となりました。

以前と同様、郵送された会報（過年度会費納入済で郵送希望の会員に送られます）に振込用紙を同封いたしますが、郵便局用とコンビニ用の2種類の振込用紙がA4の紙1枚に印刷されていますので、必要な種類のみを切り離してご利用ください。詳しくはホームページにも掲載しています。

振 込 方 法

◆ 基本的に以下の2つの方法があります。振込手数料は当方の負担になっていきますのでご不要です。

① 郵便局でお振込

- ・会報に同封の振込用紙①を切り離し、振込額を記入してお振込ください。
(2,000円より、ご自由に金額を設定できます)
- ・また、ゆうちょ銀行のATM（払い込み機能のあるものに限ります。）でもご利用いただけます。

② コンビニでお振込

- ・会報に同封の振込用紙②を切り離しご利用ください。振込額は変更できません。(2,000円)
- ・振込用紙には有効期限があります。
それを過ぎますとその振込用紙はご利用できませんのでご注意ください。

◆ クレジットカード決済（PayPal）でお振込

- ・玉翠会ホームページ (<http://gyokusui.org/>) の「年会費納入のお願い」よりお手続きできます。
(手数料は玉翠会が負担します)

◆ その他

ゆうちょダイレクトの電信振替でゆうちょ銀行口座へ送金、また他の金融機関からも下記の口座へお振込が行えます。振込手数料は各自ご負担願います。

入金処理の際は、必ず6桁の会員番号を振込人氏名の前に打電してください。

会員番号は振込用紙に記載されています。

会員番号がなく納入者を特定出来ない場合は「納入者不明」として入金させていただきます。

例) 1 2 3 4 5 6 タカマツタロウ

口座番号	名 義：香川県立高松高等学校玉翠会
	ゆうちょ銀行 0 1 6 3 0 - 0 - 3 1 1 1 5
	百十四銀行 本店 普通口座 0 0 7 8 3 2 6

会費を納入された方には、次年度の会報および振込用紙をお送りします。

会員の皆様へ

「玉翠会報」郵送から

Eメール・ホームページによる通信方法

移行へのお願い

平素より玉翠会の活動にひとかたならぬご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて当会は、毎年会員の皆様から年会費をいただきながら運営にあたっております。しかし近年、少子化の影響により卒業生徒数が減少していることから、会員構成の逆ピラミッド化が進行しつつあります。このため、現在の玉翠会の収入は徐々に減少しており、近い将来、財政が逼迫するおそれがあります。これは、地方の団体・組織が抱える共通の問題といえます。

現在玉翠会は、会報の印刷費及び郵送費に年間400万円程度を費やしており、その経費は年間の予算の4割を占めています。つきましては、経費削減を図るため、現在郵送している会報を、Eメールやホームページからのダウンロード方式に徐々に移行していきたいと考えております。

高松高校玉翠会ホームページからEメール登録が簡単にできますので、ぜひ登録をお願いいたします。もちろん、PC操作ができる方からで結構です。なお、お預かりしました個人情報とは、今後は玉翠会ネットワークのサーバー内で保管し、厳重なセキュリティの下管理していきます。なお、従来通り会報の郵送をご希望の方は、そのままだでも結構です。ただし、年会費を未納入の方に関しては、発送を数年に一度の節目の年に限らせていただきますことをご了承下さい。

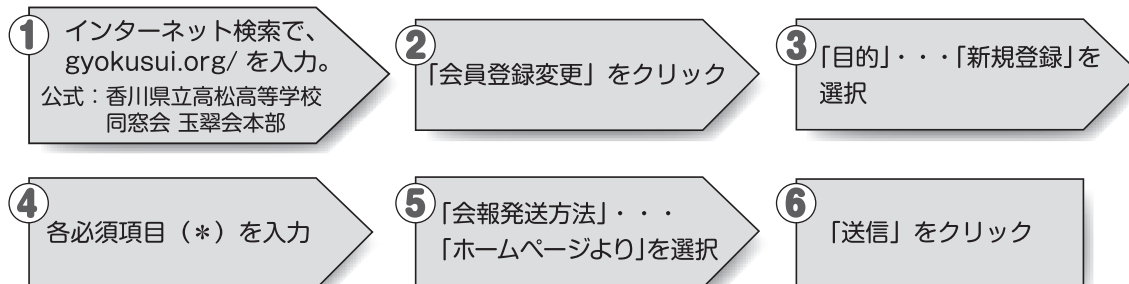
今後円滑な財政運営を目指すためにも、玉翠会への参加率の向上と年会費の支払い率アップに向けより一層の努力を続けていく所存です。なにとぞ御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

.....

ご 依 頼 内 容

1. 新しい「Eメール・ホームページによる通信方法」へ移行ご希望の会員様

- ・ 高松高校玉翠会ホームページにてEメール登録と会報発送方法の選択をお願いします。
- ・ 毎年登録されたEメールアドレスに下記内容をご連絡します。
- ・ 新年度玉翠会報のホームページ掲載のご案内・年会費振込依頼・その他連絡事項等



2. 従来通り玉翠会報等の郵送をご希望の会員様

特にお手続きはございません。

※ 迷惑メール設定をされている方は、以下のドメインの受信を許可する様に設定変更をお願いします。
gyks.org 及び gyokusui.org